

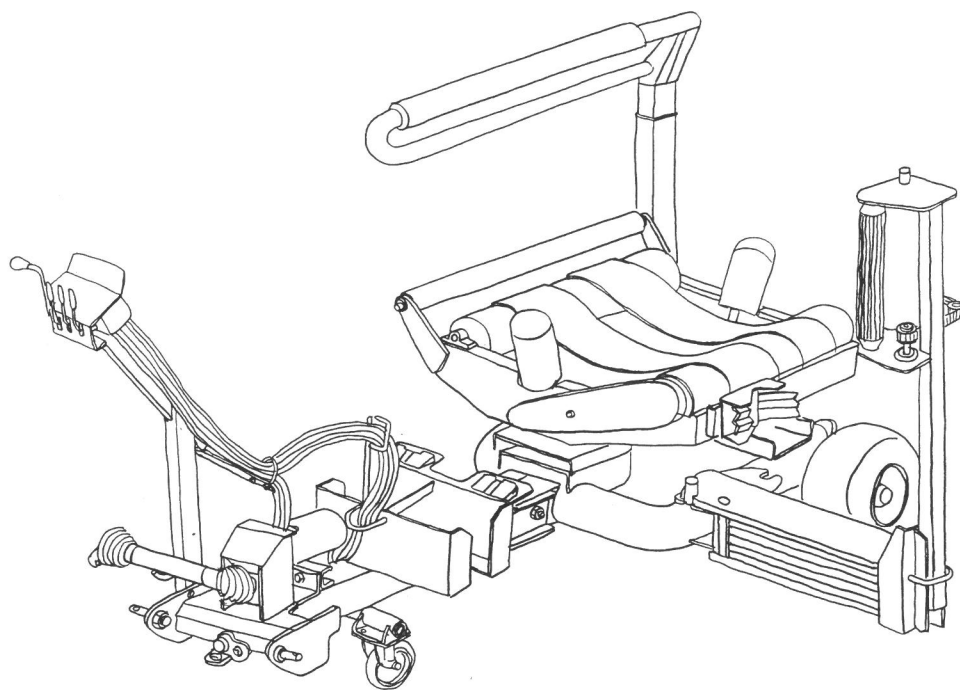
取扱説明書及び部品表

Takakita

オートラップマシーン

WM1061・WM1061A

WM1071・WM1071A



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**オートラップマシーン**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	9
各部の名称とはたらき	10
1. WM1061・WM1071	10
2. WM1061A・WM1071A	11
トラクタへの装着	12
1. 装着のしかた	12
2. ユニバーサルジョイントの取付け	12
3. 操作台の調整	13
4. コントロールボックスの接続 (WM1061A・WM1071A)	13
運転に必要な装着の取扱い	15
1. WM1061(A)のフィルム装着	15
2. WM1071(A)のフィルム装着	16
3. フィルム伸び率の調整	16
4. タイアンドカットにフィルムをはさむ	16
5. 操作ハンドルの使い方	17
6. コントロールボックスの使い方	18
7. WM1061(A)の カウンタの設定方法	21
8. ダブルストレッチのカウンタ の設定方法 (WM1071(A))	21
9. サイドローラの位置	21
10. シングル/ダブルストレッチの 切替え (WM1071(A))	22
11. 安全ボルトについて	23
作業方法	24
1-1. 作業手順と要点 (WM1061、1071)	24
1-2. 作業手順と要点 (WM1061A、1071A)	25
2. ストレッチ台を引き出す	26
3. 積込み作業	26
4. フィルムを巻き付ける	27
5. ロールを降ろす	27
6. 自動運転を行う	28
7. 手動運転を行う	29
8. ロールを軽トラックに積込む場合	30
9. 移動時の注意	30
10. 収納時の注意	30
作業前の点検について	31
点検整備基準	31
簡単な手入れと処置	32
1. 油圧作動油について	32
2. チェーンの調整	32
3. タイアンドカットの調整	32
4. オートストップ装置のワイヤ調整	33
5. タイヤの空気圧	33
6. ゴムロール	33
7. スイッチ類の調整 (Aタイプ)	34
不 調 診 断	35
付 表	36
1. 主要諸元	36

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

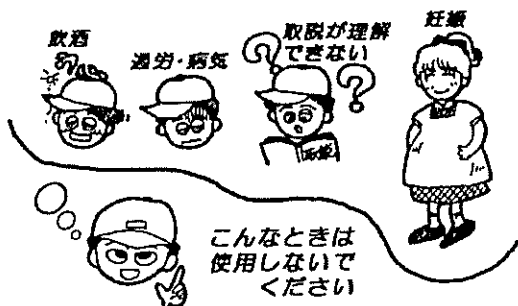
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

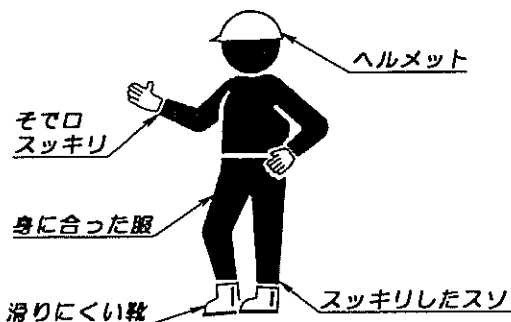
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

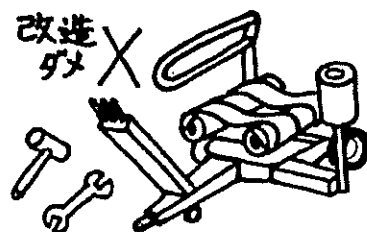
● 適応トラクタ馬力

型 式	馬力 kW (PS)	装着方法
WM1061 WM1071	14.7~33.0 (20~45)	ローワーリンク牽引 カテゴリ O・I
WM1061A WM1071A		

(4) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。

また、改造をしないでください。



(5) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



⚠ 安全に作業するために

2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

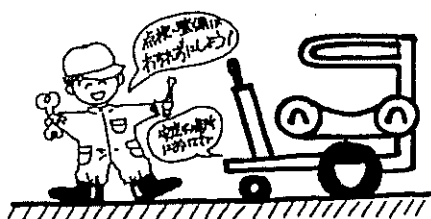


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

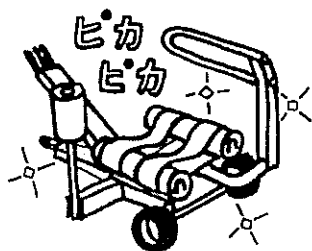
(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

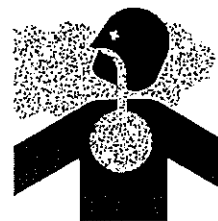
火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

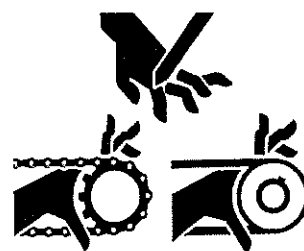
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

チェーンへの注油は、必ずPTOを切り、エンジンを止め～行ってください。また、油圧パッケージへの注油は高温のときは行わないでください。



⚠ 安全に作業するために

(8) ナイフに注意すること

ナイフ類は絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。

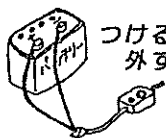
(9) コントロールボックスの電源脱・着

トラクタのバッテリーより電源を取出します。その取付け方法は、+側から行ってください。

外す時は、-側から行ってください。

逆にすると火花が飛び危険です。

(詳細は本文の『コントロールボックス』の取付けを参照してください。)



つける時は (+) 側から
外す時は (-) 側から



(10) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

コントロールボックスはトラクタより取外して屋内の乾燥した場所に保管してください。



チェーンに
注油

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。



近づくと
あがらない

(2) エンジンを開始するときには

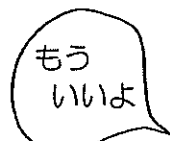
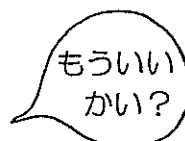
P T Oを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

安全確認



(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) ストレッチフィルムの交換や草の巻きつきを取除くときは

P T Oを切り、エンジンを必ず止めてから行ってください。



(5) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれて傷害を負うことがあります。

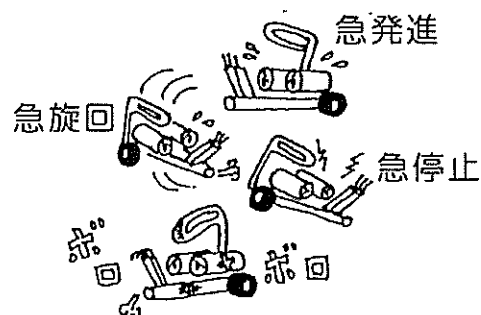


⚠ 安全に作業するために

(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起状の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。



(7) エンジンは低速回転で

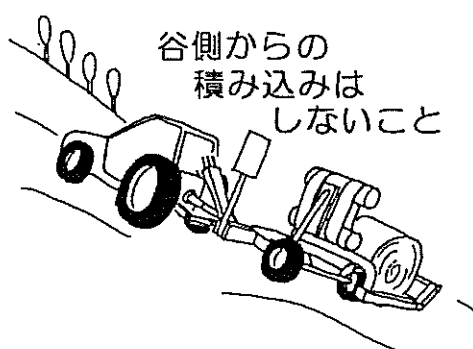
高速回転にすると、ロールベールが飛び出したり、機械が振動したりして大変危険です。

ラップするときは、PTO回転を必ず標準仕様は $300\text{min}^{-1}(\text{rpm})$ 以下
A仕様は $370\sim 400\text{min}^{-1}(\text{rpm})$
で作業してください。

(8) 傾斜地で作業するときは

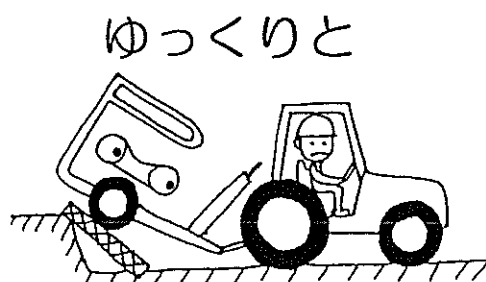
次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。
- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。守らないと、転倒する危険があります。
- ③ 谷側からの積み込み・荷降ろしは、転倒の危険がありますので、絶対に行わないでください。



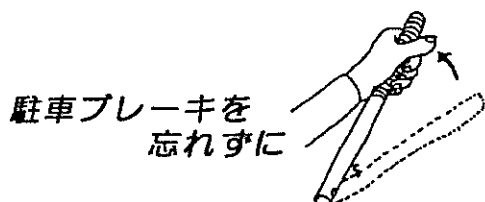
(9) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



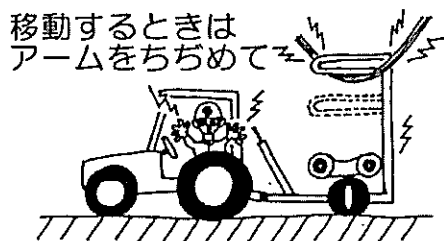
⚠ 安全に作業するために

- (10) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に停止し、P T Oを切りエンジンを止め、駐車ブレーキをかけ、本作業機側に車止めをしてください。

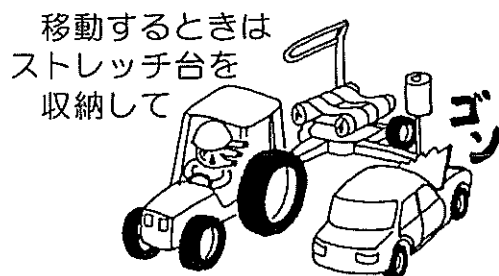


- (11) 移動するときは

アームを最も縮めた状態にしてください。伸ばしたまま移動すると、障害物にぶついたり、電線を引っ掛け、感電する恐れがあります。



また、ストレッチ台は必ず収納してください。ストレッチ台を引き出したまま移動すると、器物を破損する恐れがあります。



- (12) 移動および作業の旋回の際は

トラクタに本機をけん引して旋回するときは内輪差が生じるので、十分注意してください。

急旋回は危険ですので行わないでください。



4. 道路走行・輸送するときは

- (1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

- (2) トラックなどへの積み込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。

積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

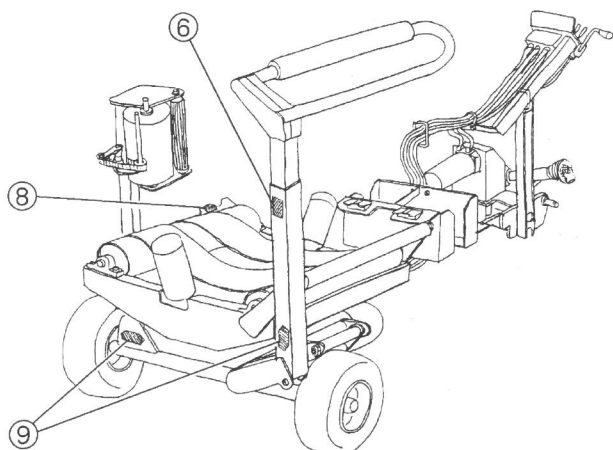
以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

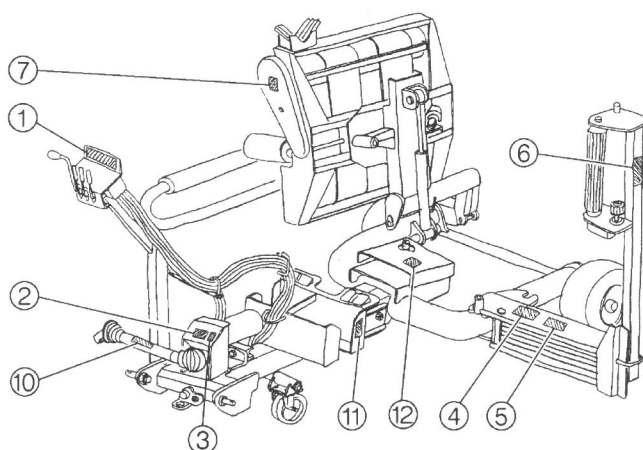
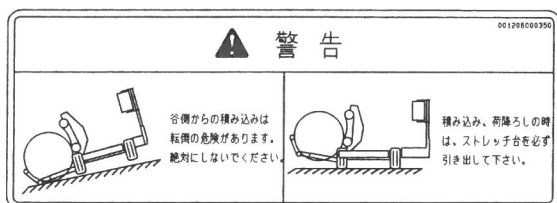
安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置

●WM1061・WM1071



①部品コード 001206000350



④部品コード 001206000950



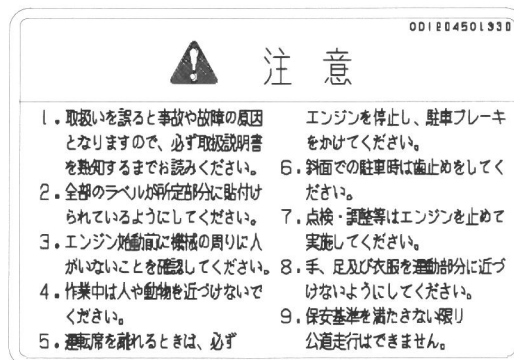
②部品コード 001206000610



③部品コード 001306000220

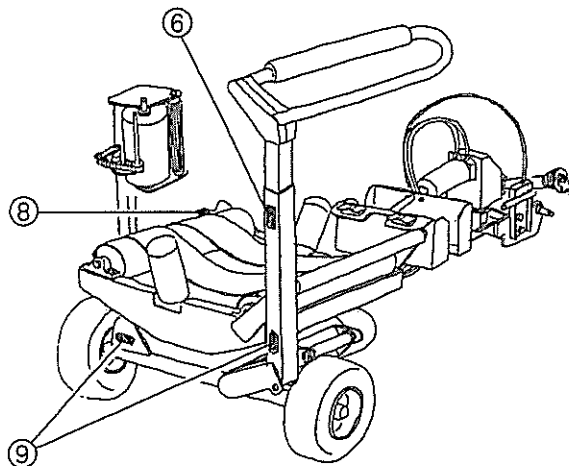


⑤部品コード 001204501330

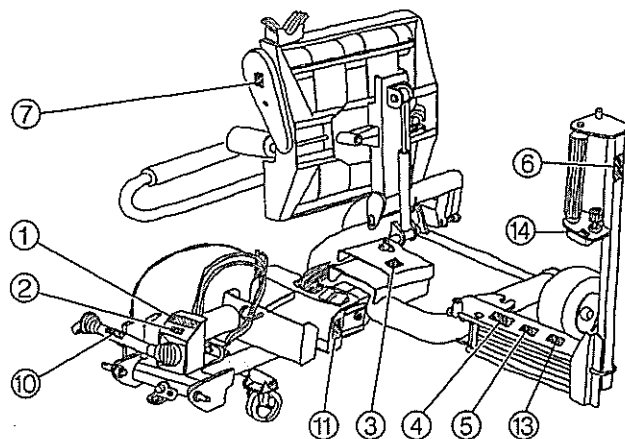
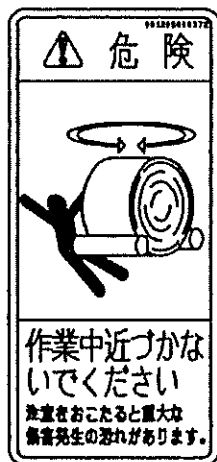


⚠ 安全に作業するために

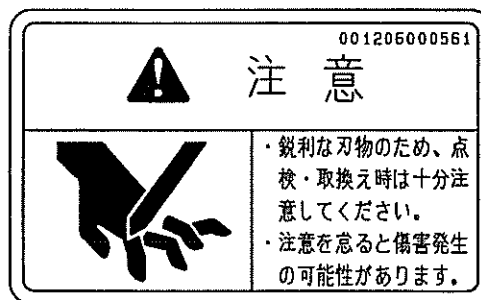
●WM1061A・WM1071A



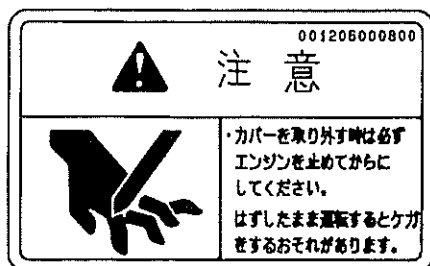
⑥部品コード 001206000372



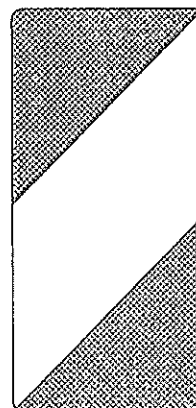
⑧部品コード 001206000561



⑦部品コード 001206000800

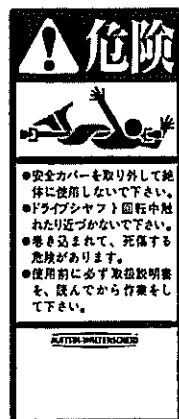


⑨部品コード 001306000370

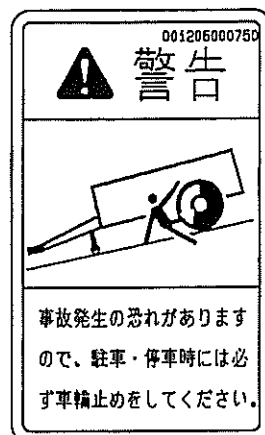


⚠ 安全に作業するために

⑩部品コード 001306951010



⑪部品コード 001206000750



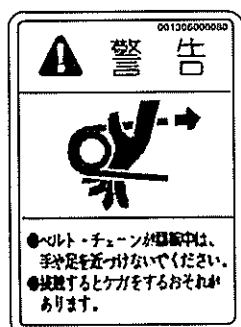
⑫部品コード 001206001320



⑬部品コード 001306000210



⑭部品コード 001306000080



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押ししながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等のロールベールをラップする作業にご使用ください。

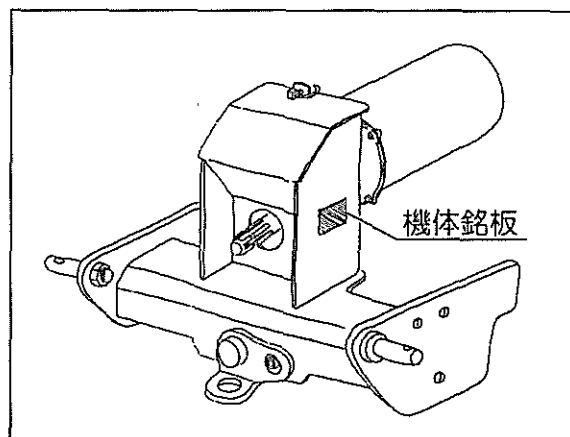
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

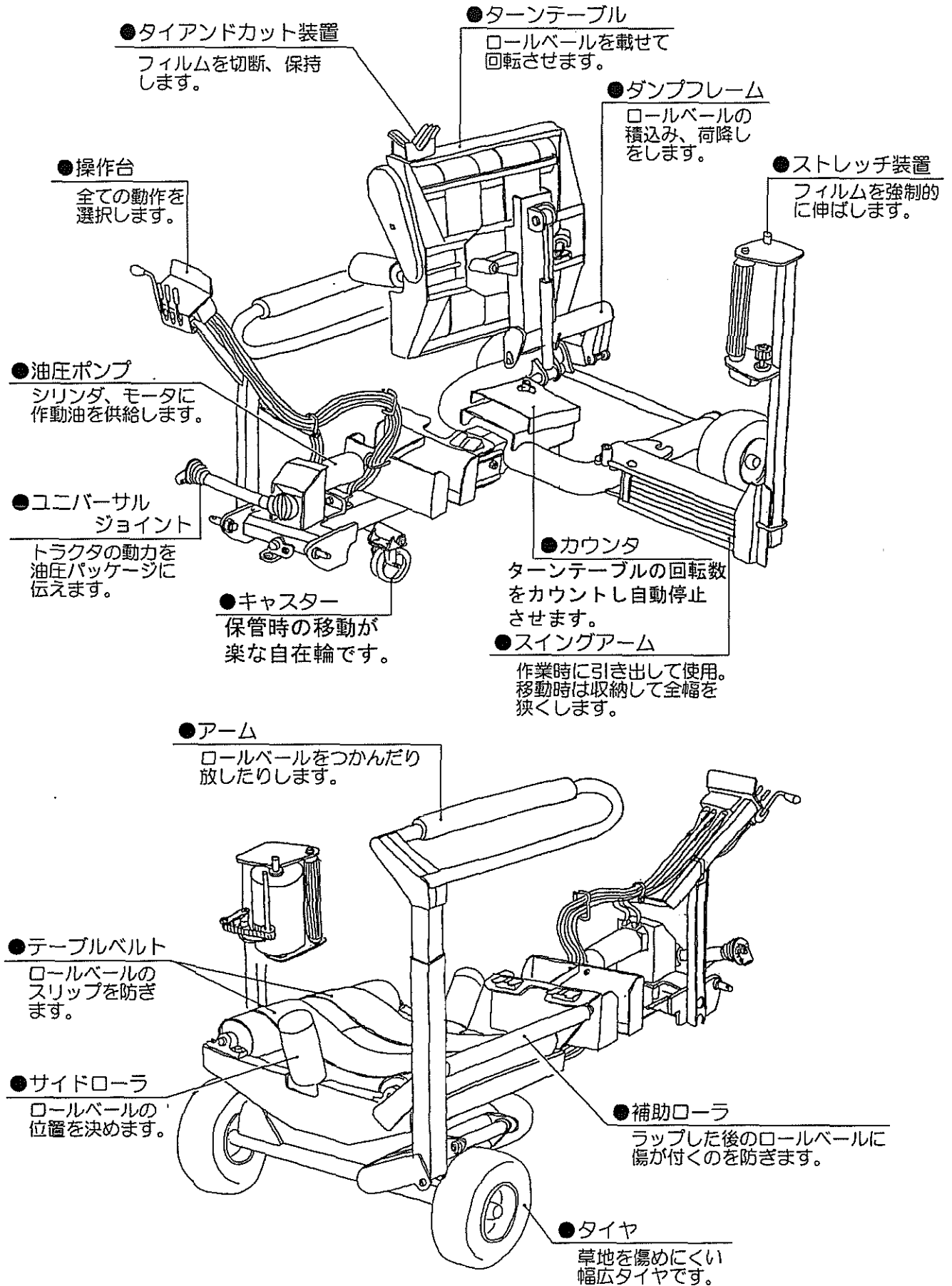
※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	オートラップマシン
型 式	WM1061 (A)、WM1071 (A)
機 体 No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

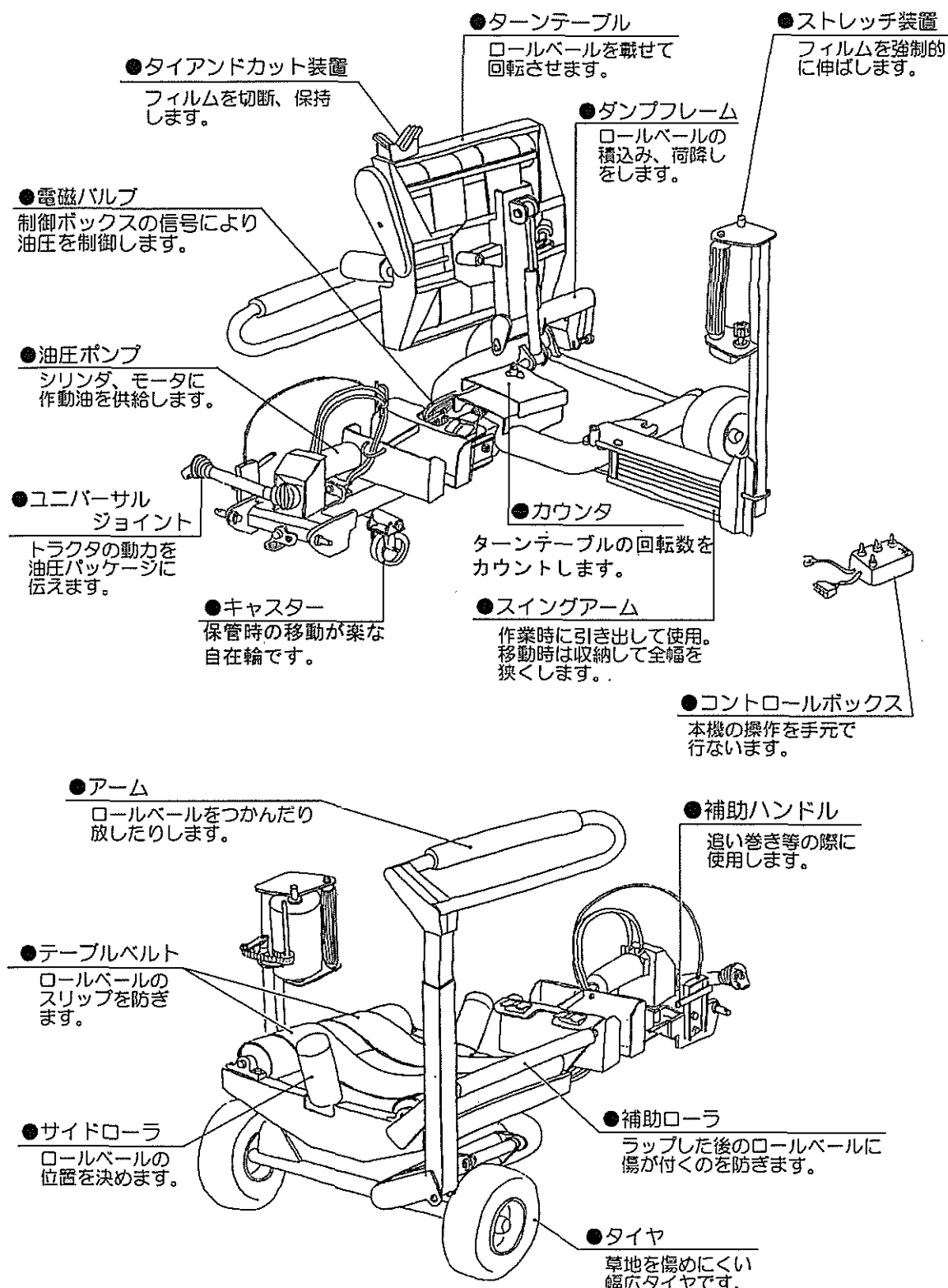
各部の名称とはたらき

1. WM1061・WM1071



各部の名称とはたらき

2. WM1061A・WM1071A



トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止め、P T Oを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります

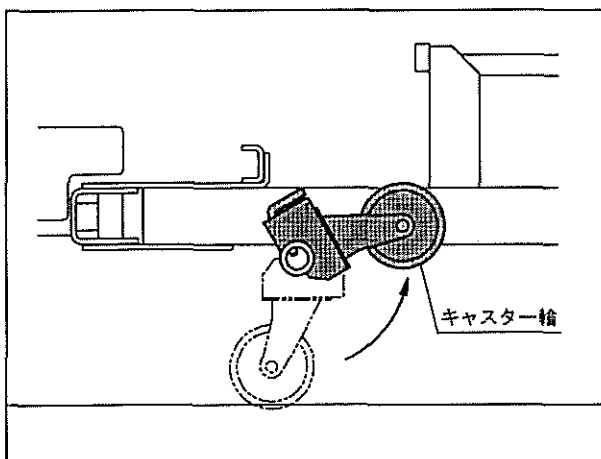
1. 装着のしかた

◆ドローバを取り付ける

左ローリンク、右ローリンクの順序で取付けてください。

◆キャストールを上げる

ポジションコントロールでローリンクを少し上げ、ピンを抜いてキャストールを上げます。



◆チェックチェーンで横振れ調整

運転時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にローリンクが左右に2～3 cm程度の振れになるよう調整してください。

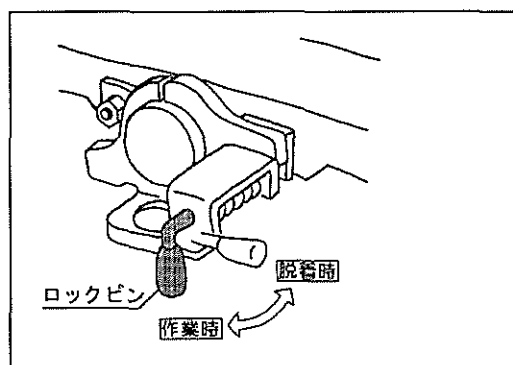
◆ロックピンを外す

操作台の転倒防止用のロックピンを外します。

2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

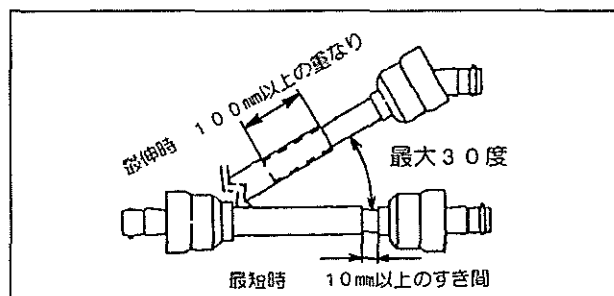
本機入力軸に取付けてから、トラクタP T O軸に確実に取付けてください。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、ローリンクによる本機の上昇・下降により変化します。先にジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



トラクタへの装着

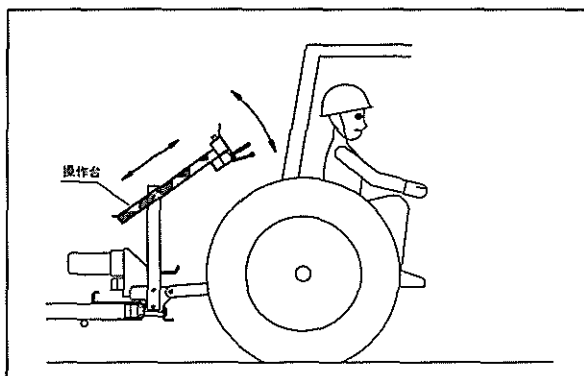
- ◆カバー回転止めチェーンで固定をユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

警告

カバーの回り止めは必ず行ってください。これを怠ると傷害事故につながる恐れがあります。

3. 操作台の調整 (WM1061・WM1071)

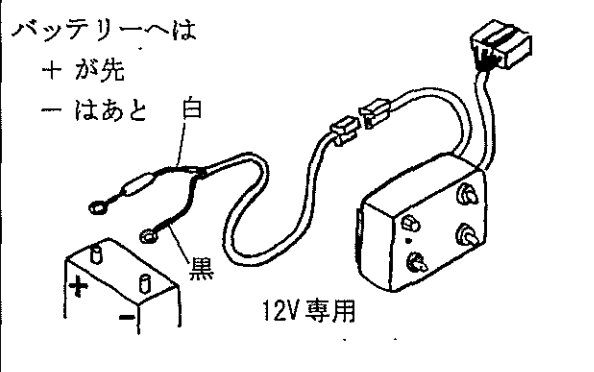
運転席から手が届き、ローリンクの上下や旋回時にトラクタのフェンダー、キャビン等に当たらないよう調整してください。



4. コントロールボックスの接続 (WM1061A・WM1071A)

- ◆接続できるバッテリーの電圧は12Vです

24Vのバッテリーに接続しないでください。間違えて接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。



- ◆(+)、(-)の接続を間違えないように
白色線はバッテリーの(+)へ接続
黒色線はバッテリーの(-)へ接続

注意

(+)、(-)の接続を間違えると、コントロールボックスの電源ランプは点灯しません。

警告

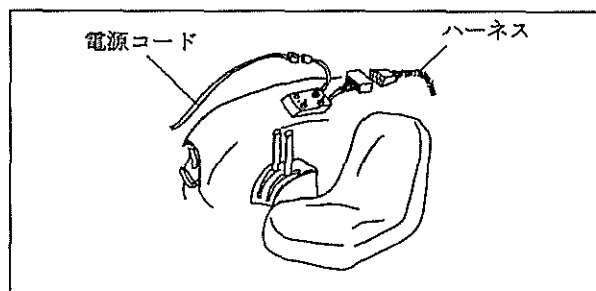
接続の順序は、(+)側から行ってください。

また、取外すときは(-)側から行ってください。

逆にすると、火花が飛び危険です。

- ◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックスの裏側に永久磁石を装備してあります。操作のしやすいように、トラクタの運転席右側の金属製フェンダー等に吸着させて取付けてください。



- ◆配線の接続

電源コードとハーネスをそれぞれコントロールボックスに接続します。

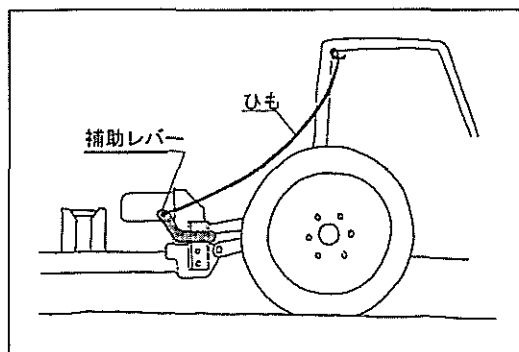
配線が作業の邪魔にならないよう、また旋回時等に引っ掛からないようにトラクタ固定してください。

- ◆作業終了後は取外して屋内に保管

作業終了後は、電源コード側のコネクターより切離し、水等がかからない屋内にしてください。

トラクタへの装着

- ◆ 補助レバーにひもをつなぐ
(WM1061、WM1071)

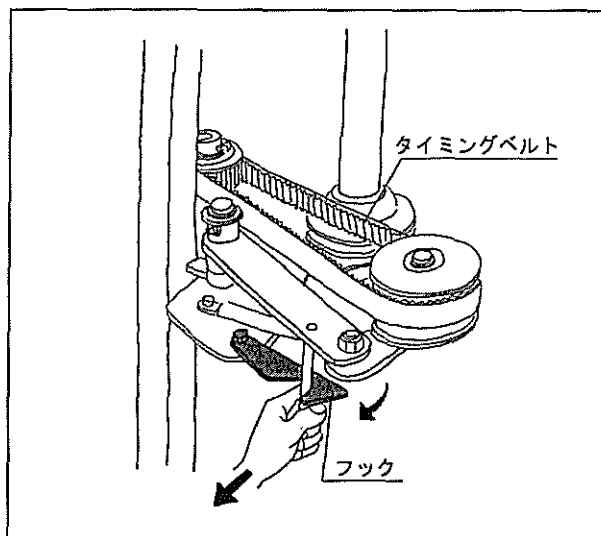


補助レバーにひもをつなぎ、他端を安全フレーム等の作業の邪魔にならない場所に固定してください。
旋回時等に引っ掛からないよう、適当な長さに調整してください。

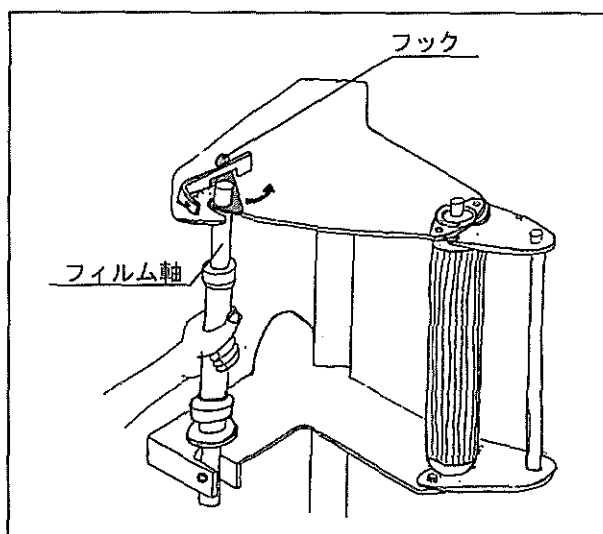
運転に必要な装置の取扱い

1. WM1061 (A) のフィルム装着

- ①テンションアームを引き、フックで固定してください。



- ②フックを外してフィルム軸を倒します。

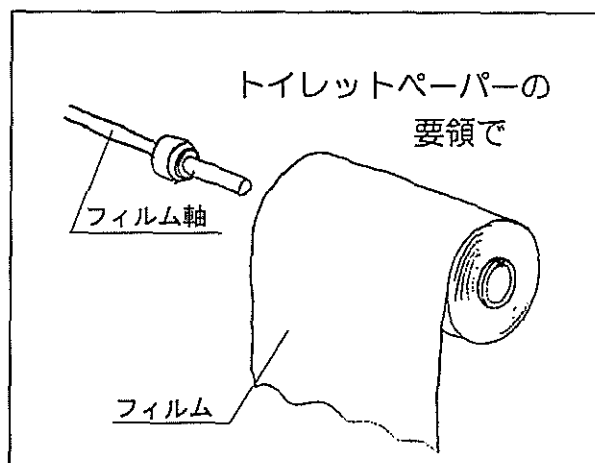


⚠ 注意

フックを外す時は、必ずフィルム軸が倒れないよう手で押えておいてください。

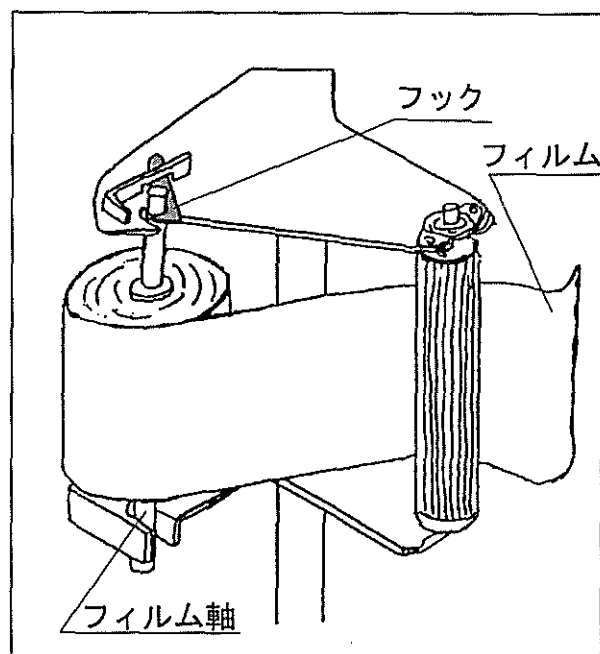
これを怠ると傷害事故につながる恐れがあります。

- ③フィルムをフィルム軸に挿入します。
傷が付かないよう、フィルムの取扱いには十分注意してください。



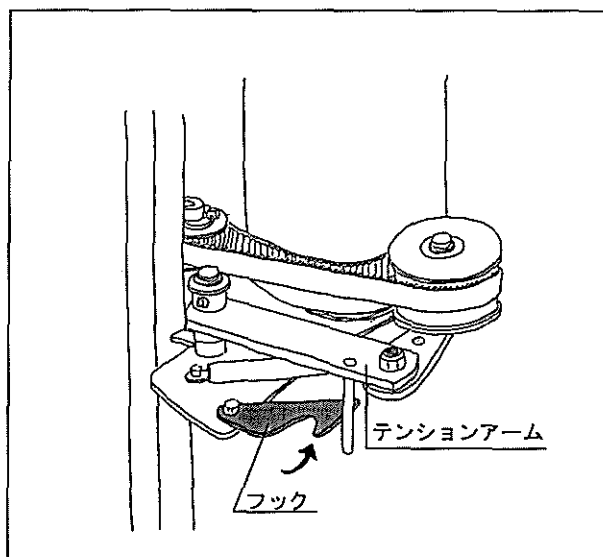
- ④フィルム軸を起こしてフックをかけます。
タイミングベルトがフィルムの円筒面にかかっていることを確認してください。

外れている場合はかけ直してください。
フィルムは図のように通します。



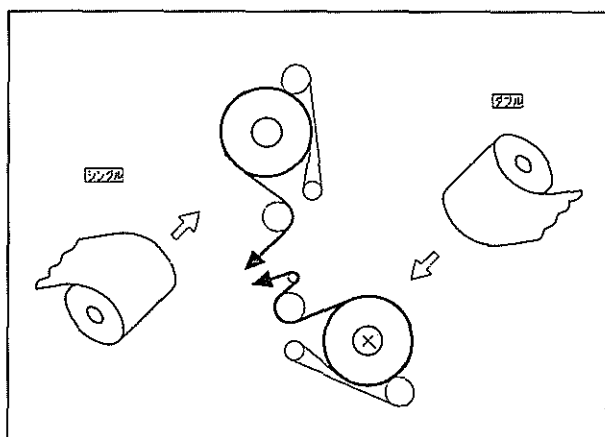
運転に必要な装置の取扱い

- ⑤テンションアームを引き、フックを必ず外してください。



2. WM1071 (A) のフィルム装着

装着の要領はWM1061と同じですが、フィルムの通し方が少し異なります。



3. フィルム伸び率の調整

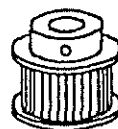
純正フィルムに合わせ伸び率は、160%に設定してありますが、気温やフィルム特性の違いにより伸び過ぎたり切れ易かったりすることがあります。

その場合には、テンションアーム下に伸び率変更用のプーリーを装備しておりますので交換してください。

フィルム伸び率の調整

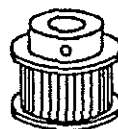
フィルムの幅が40cmくらいになるようプーリーを交換してください。

16T (160%)



純正フィルム用

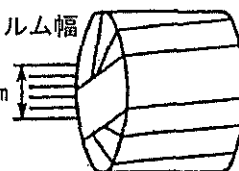
17T (150%)



フィルムが伸び過ぎる場合
フィルムがよく切れる場合

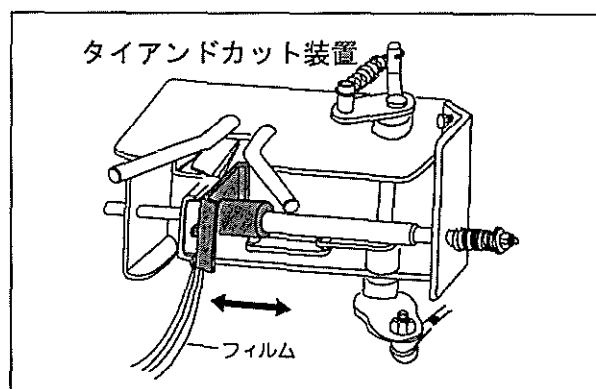
伸びたときのフィルム幅

約40cm



4. タイアンドカットにフィルムをはさむ

装置を開きます。フィルムを引出し、装置の根元に下からはさみます。



⚠ 注意

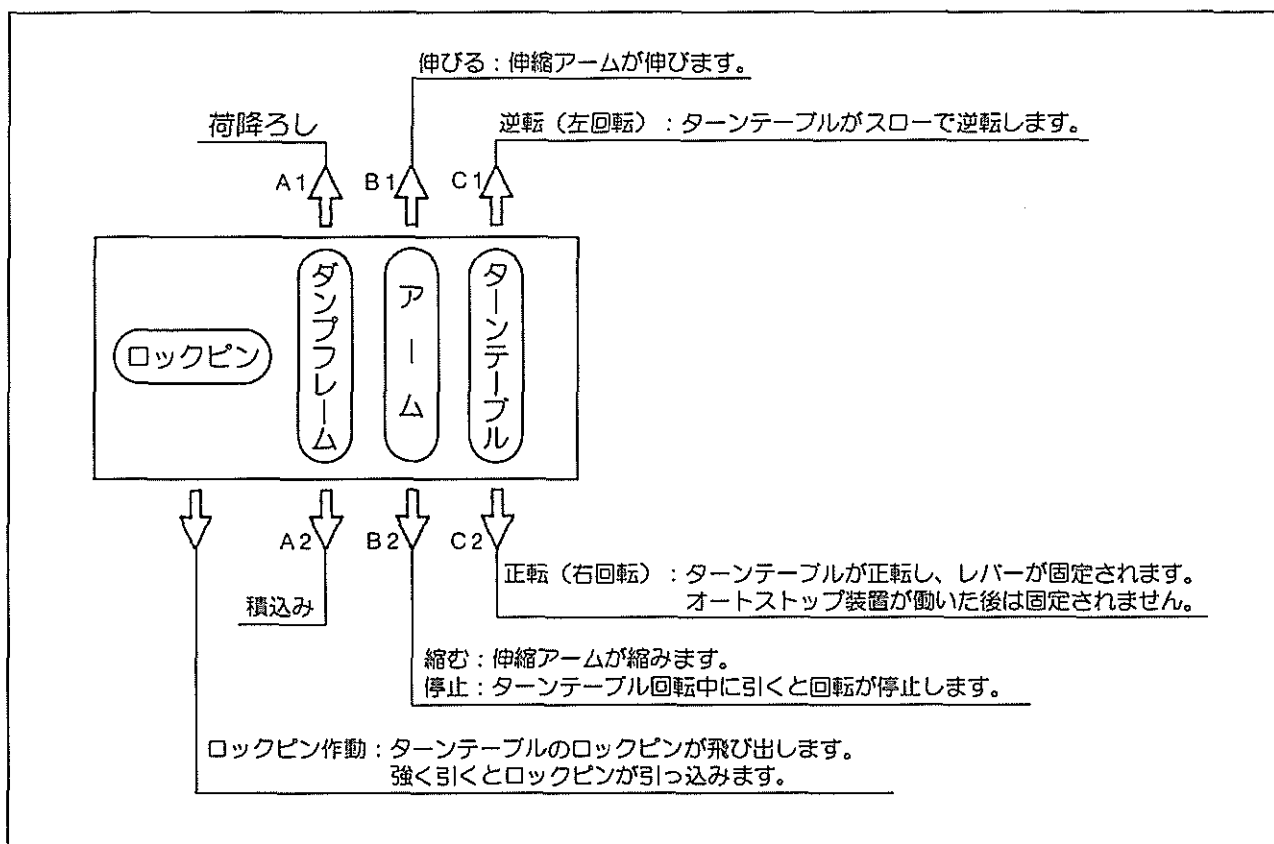
鋭利な刃物がありますので取扱いには十分注意してください。

注意をおこたると傷害事故につながる恐れがあります。

運転に必要な装置の取扱い

5. 操作ハンドルの使い方 (WM1061・WM1071)

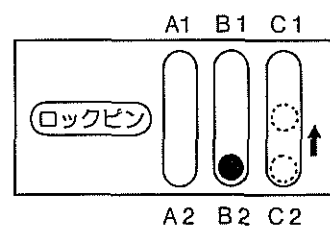
◆ラップ作業時の全ての操作を行います



◆こんなときは・・・

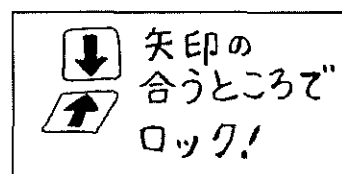
1. ターンテーブルの回転を途中で止めたいとき

→ レバーをB 2に引くと、正転（C 2）に固定されているレバーが元に戻り、ターンテーブルの回転が止まります。



2. 途中で荷降ろししたいとき

- ①ロックピンで作動レバーを引きます。
②レバーをC 1またはC 2に小刻みに倒し、矢印が合うところまでターンテーブルをゆっくり回転させロックします。



3. 追い巻きしたいとき

→ ロックピンレバーを引きながら、レバーをC 2に倒すと、追い巻きすることができます。

運転に必要な装置の取扱い

6. コントロールボックスの使い方

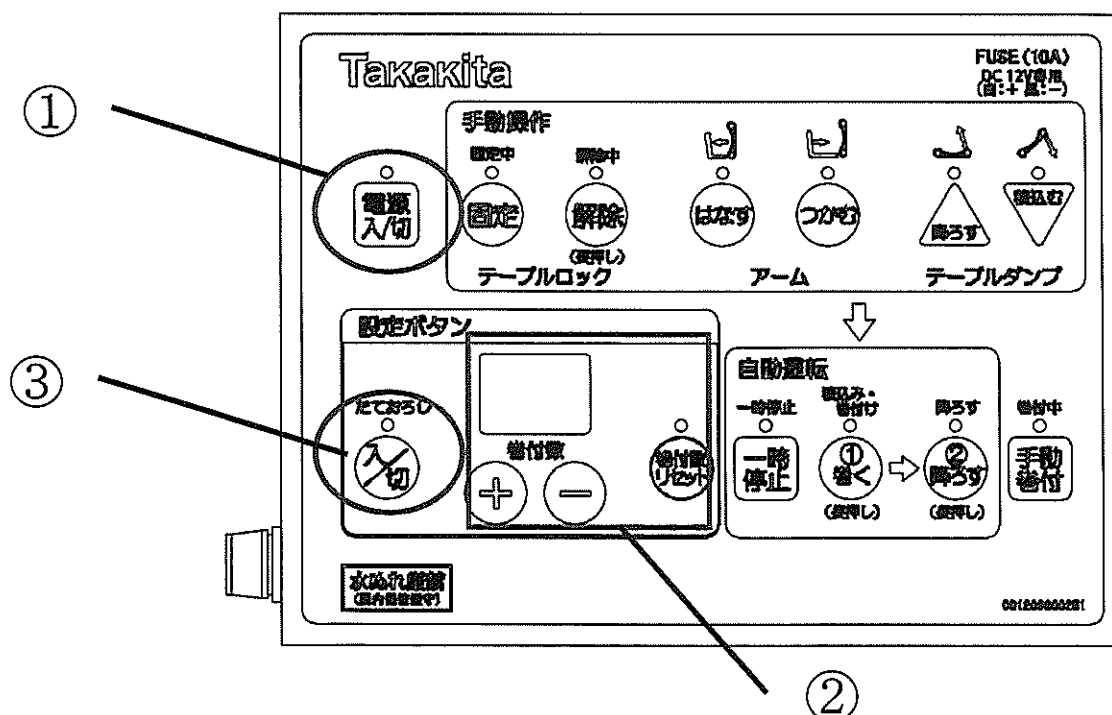
● 作業をはじめる前の注意点

- A) コントロールボックスを操作する前に必ず最初にPTOを入れてください。
エンジン回転は作業時以外にはアイドリングで行ってください。
- B) 作業時はPTO 回転速度を 370min-1～400 min-1 の範囲で行ってください。
- C) 自動運転時、一部の動作にタイマーを設定していますので、PTO 回転速度が上記回転速度よりずれた場合、油圧速度が変わるためタイミングが合わない動作をしますので注意してください。
- D) 空荷、あるいは、フィルムを巻きつけない状態でテーブルを回転させる場合は、アイドリング状態で行ってください。守らないと停止時の衝撃が大きくなり機械を破損させる原因となります。
- E) 自動運転を行う場合、機体の周囲に、人、障害物がないか確認してください。
- F) トラクタのバッテリーの電圧が低下しますと、コントロールボックスが上手く動作しない事があります。

● 作業前の設定

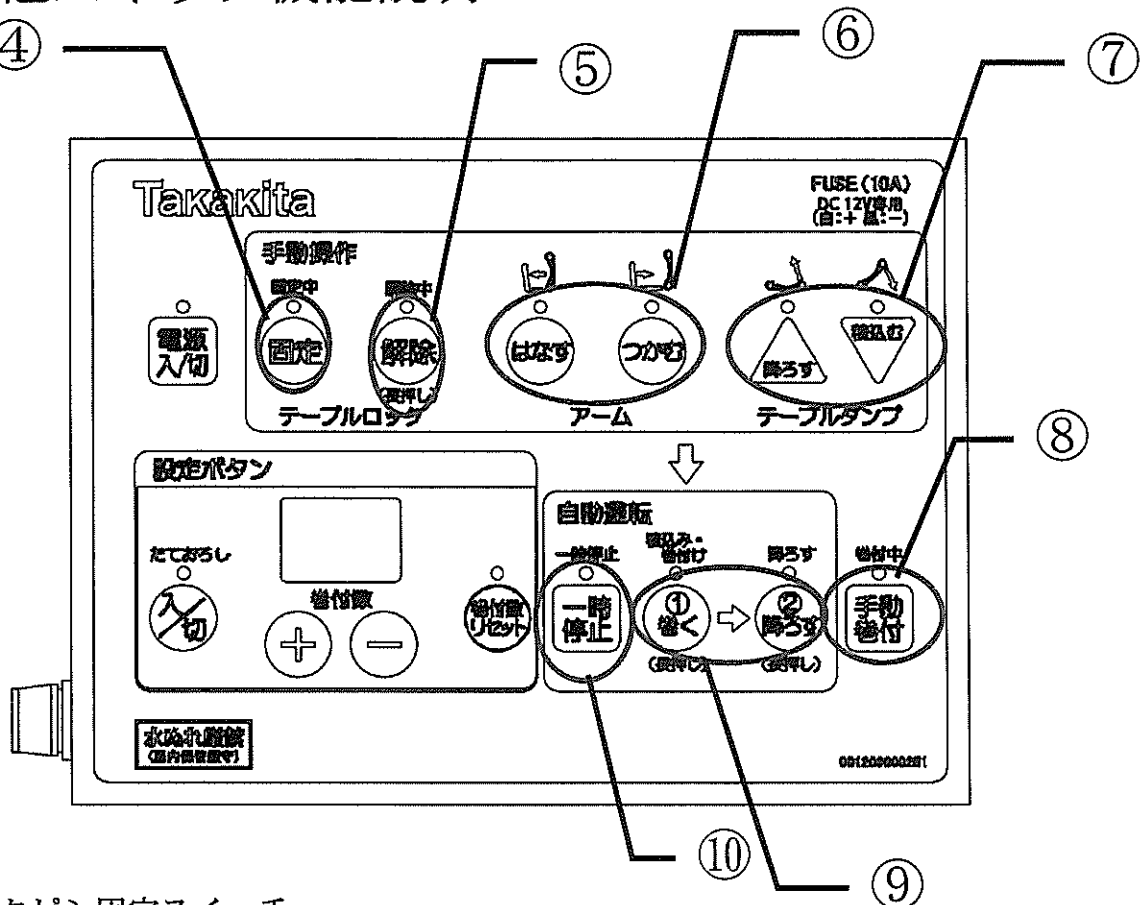
- ① 電源を入れる。
- ② 巻付数の設定を行う。(1度設定すると電源を切っても記憶します)
- ③ 縦おろし作業の選択の設定を行う。

(電源を切ると縦おろし無しの設定となります。縦おろし作業を行うときは注意してください。)



運転に必要な装置の取扱い

● その他スイッチ機能説明



④ロックピン固定スイッチ

一度押すと、テーブルロックピンが解除後、テーブルが回転しロックします。
(PTO を入れアイドリングで行ってください)

⑤ロックピン解除スイッチ (長押ししてください)

一度押すと、テーブルロックピンを解除します。追巻等で使用してください。
(PTO を入れアイドリングで行ってください)

⑥アーム伸・縮スイッチ

押している間、アームが伸び・縮みます。

⑦テーブル上下スイッチ

押している間、テーブルがダンブ(上)・リフト(下)します。

⑧回転スイッチ

設定巻付数だけテーブルが回転し、自動で停止します。

但し、設定が0の場合は押している間だけ、テーブルが回転し、放すと停止します。

⑨自動スイッチ (長押ししてください)

自動運転時に使用します。自動「1」 積み込み～巻付完了 自動「2」 荷降し～スタンバイ

⑩一時停止スイッチ

自動運転時、手動回転時に緊急停止を行います。(LED 点灯)

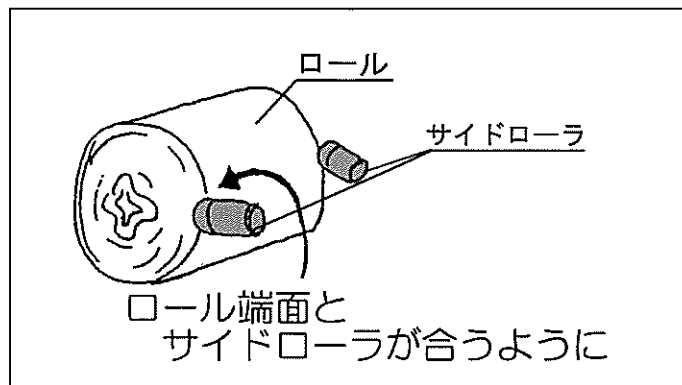
再度押すと続きから開始します。(LED 消灯)

続きからはじめない場合、上記スイッチの⑥⑦いずれかを押すとリセットします。(LED 消灯)

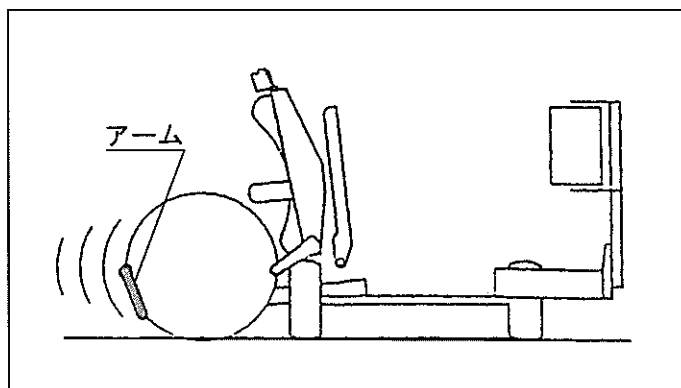
運転に必要な装置の取扱い

● 自動運転を行う（主に⑥、⑦、⑨のスイッチを使用）

1. アームを伸ばす（⑥の「伸」側を押す）
2. ロールの端面がサイドローラの位置と大体合うように進入する



3. ダンプする（⑦の上側を押す）
4. アームを縮める（⑥の縮側を押し、ロールを引寄せる）
（リリースバルブが効く音がするまで縮める）



5. 引寄せた状態でロールとテーブルの位置関係を確認
6. ⑨の自動1を押す（長押し）
積込み～巻付完了を自動で行います。
7. 荷降し場所へ移動（自動1作業中）
8. ⑨の自動2を押す（長押し）
荷降し～放出～スタンバイまでを自動で行います。

● 手動運転を行う（主に⑥、⑦、⑧のスイッチを使用）

1. ロールをテーブルに載せる
2. アームを少し伸ばす
3. ⑧のスイッチを押す（巻付開始後、自動停止）
4. アームを縮める
5. 荷降し
6. テーブルを戻す（途中まで）

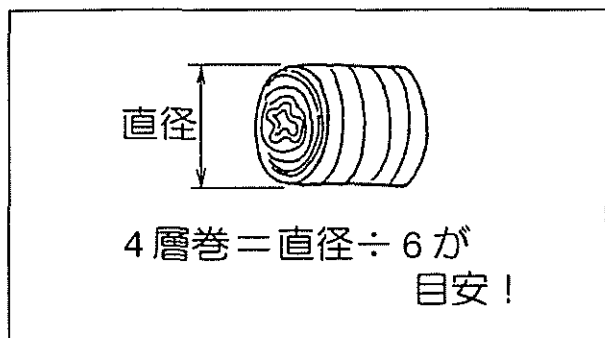
運転に必要な装置の取扱い

7. WM1061(A)のカウンタの設定方法

◆ 4層巻の場合

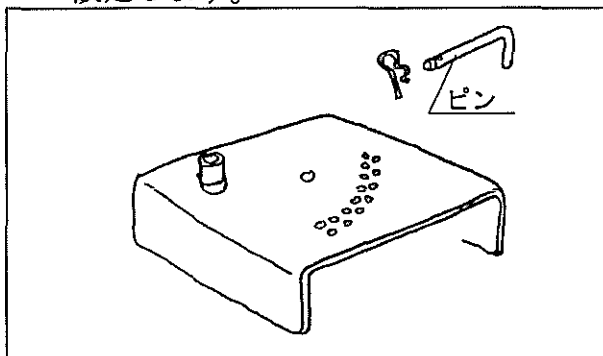
通常保存の場合、フィルムは4層巻きで十分です。

- ①ロールの直径 (cm) を測ります。
- ②それを6で割ります。余りは切上げます。
例えば、直径100cmの場合、
 $100 \div 6 = 16.7 \Rightarrow 17$ 回転
が、目安となりますが実際にラップして
から巻き数を加減してください。



③ WN1061

カウンタのピンを入れ換えて、巻き数を設定します。



WM1061A

コントロールボックス内の巻き数設定で入力してください

⚠ 警告

ピンを入れ換える時はダンプフレームを完全にダンプするか、完全に戻してから必ずエンジンを停止させて行ってください。

これを怠ると重大な傷害事故につながる恐れがあります。

◆ 6層巻の場合

長期の保存などの場合、フィルムを6層巻きにした方がよいことがあります。

- ①ロールの直径 (cm) を測ります。
- ②それを4で割ります。余りは切上げます。
例えば、直径100cmの場合、
 $100 \div 4 = 25 \Rightarrow 25$ 回転
が、目安となります。

◆ フィルム1本で巻ける目安

4層巻きの場合、

直径 90cm × 幅 85cmのロールではおよそ45個、

直径100cm × 幅100cmのロールではおよそ35個のラップができます。

6層巻きの場合は、それぞれおよそ32個、25個のラップができます。

8. ダブルストレッチのカウンタ設定方法 (WM1071(A))

4層巻き、6層巻きともシングル時の半分としてください。

余りは切り上げます。

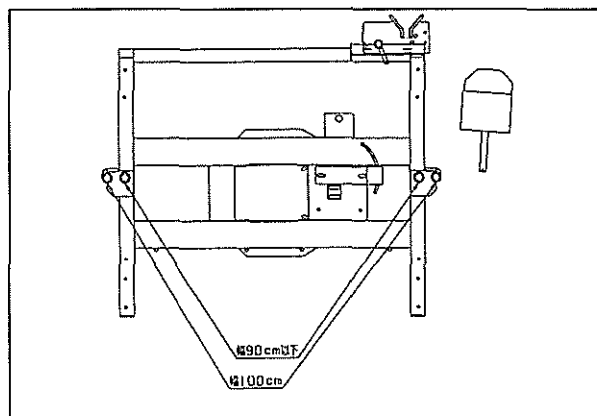
例えば、直径100cmの4層巻きでは

$$17 \div 2 = 8.5 \rightarrow 9 \text{ 回転}$$

が、目安となりますが、実際にラップしてから巻き数を加減してください。

9. サイドローラの位置

ロール幅によって位置を移動させてください。



運転に必要な装置の取扱い

10. シングル／ダブルストレッチの切替え (WM1071 (A))

以下のような条件ではダブルストレッチが使用できないことがあります。

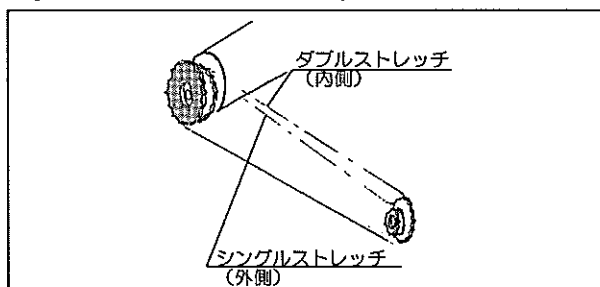
- ・ロール直径が100cmに満たない場合
⇒フィルムとロールの位置が合わないため、巻きむらが生じる恐れがあります。
- ・ロール重量が150kgに満たない場合
⇒ロールがターンテーブルにより脱落して作業できない場合があります。

このような場合、シングルストレッチで使う必要があります。

下記の要領に従い、組替えてください。

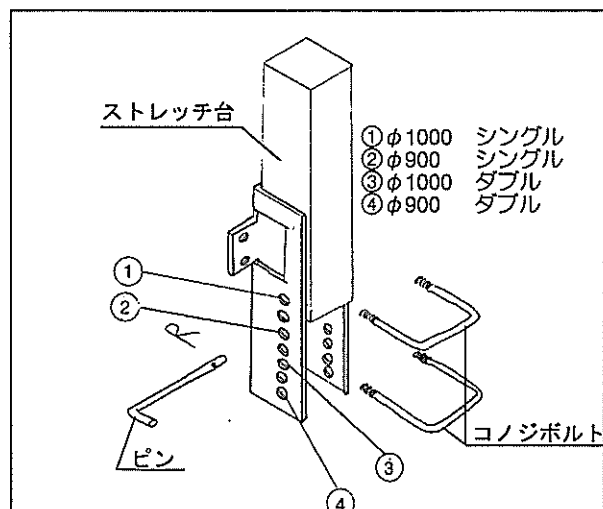
◆ターンテーブルのスピード変更

- ①テーブルローラを固定しているベアリングのボルトを緩めます。
- ②チェーンを掛け替えます。シングルストレッチは外側（ダブルストレッチは内側）です。
- ③ベアリングによりチェーンを張り、固定してください。
- ④カバーを取付けます。



◆ストレッチ台の高さ変更

- ①コノジボルトを緩めます。
- ②ストレッチ台は図の位置を目安にして、適切な穴にL型ピンを差して下さい。
フィルムの中央とロールの中央が同じになるよう、微調整して下さい。
- ③高さが決まったらコノジボルトを締めます。
- ④ピンには必ずRピンを差して下さい。



◆カウンタの変更

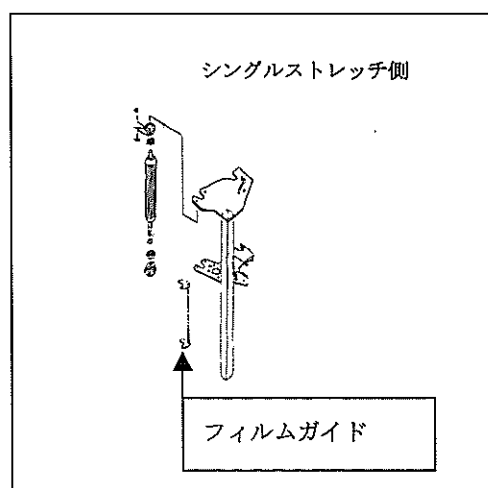
21ページのWM1061 (A) のカウンタ設定方法を参考に設定を変更してください。

! 警告

この作業を行う時は、ダンプフレームが完全に戻った状態にして、必ずエンジンを停止させて行ってください。
これを怠ると、重大な傷害事故につながる恐れがあります。

◆フィルムガイドの取り外し

ダブルストレッチを組付け時シングルストレッチのフィルムガイドは不要になりますので取り外してください。
はずさずに使用されるとフィルムが干渉し破れる恐れがあります。



運転に必要な装置の取扱い

1.1. 安全ボルトについて

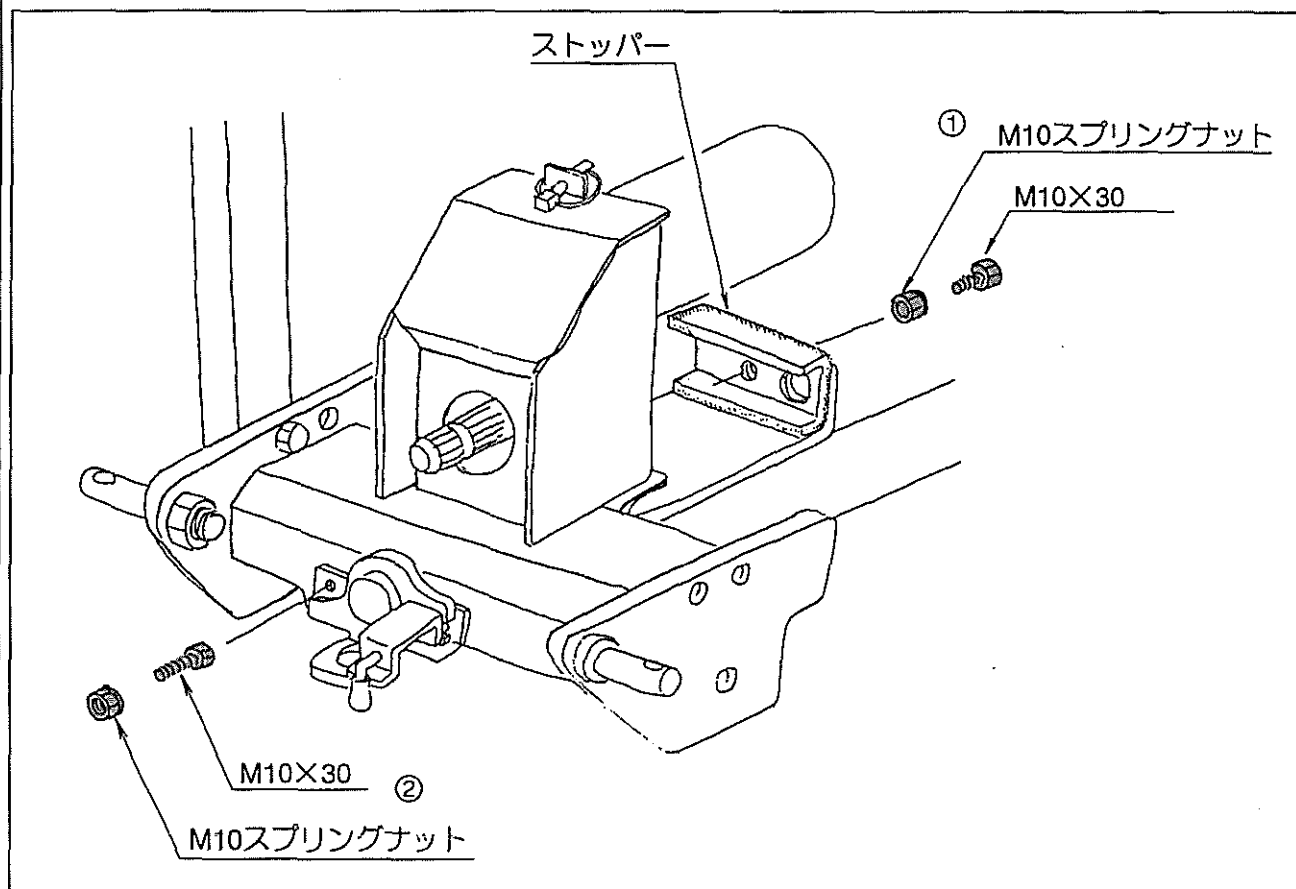
機械の破損を防止するため、図のように2ヶ所に安全ボルトが装備されています。
切断したら、速やかに入れ替えてください。

① 旋回角度規制用

バックの時などけん引かんの角度がつき過ぎると切断します。

② 回転角度規制用

ほ場への出入り等、機械が限度を超えて回転すると切断します。



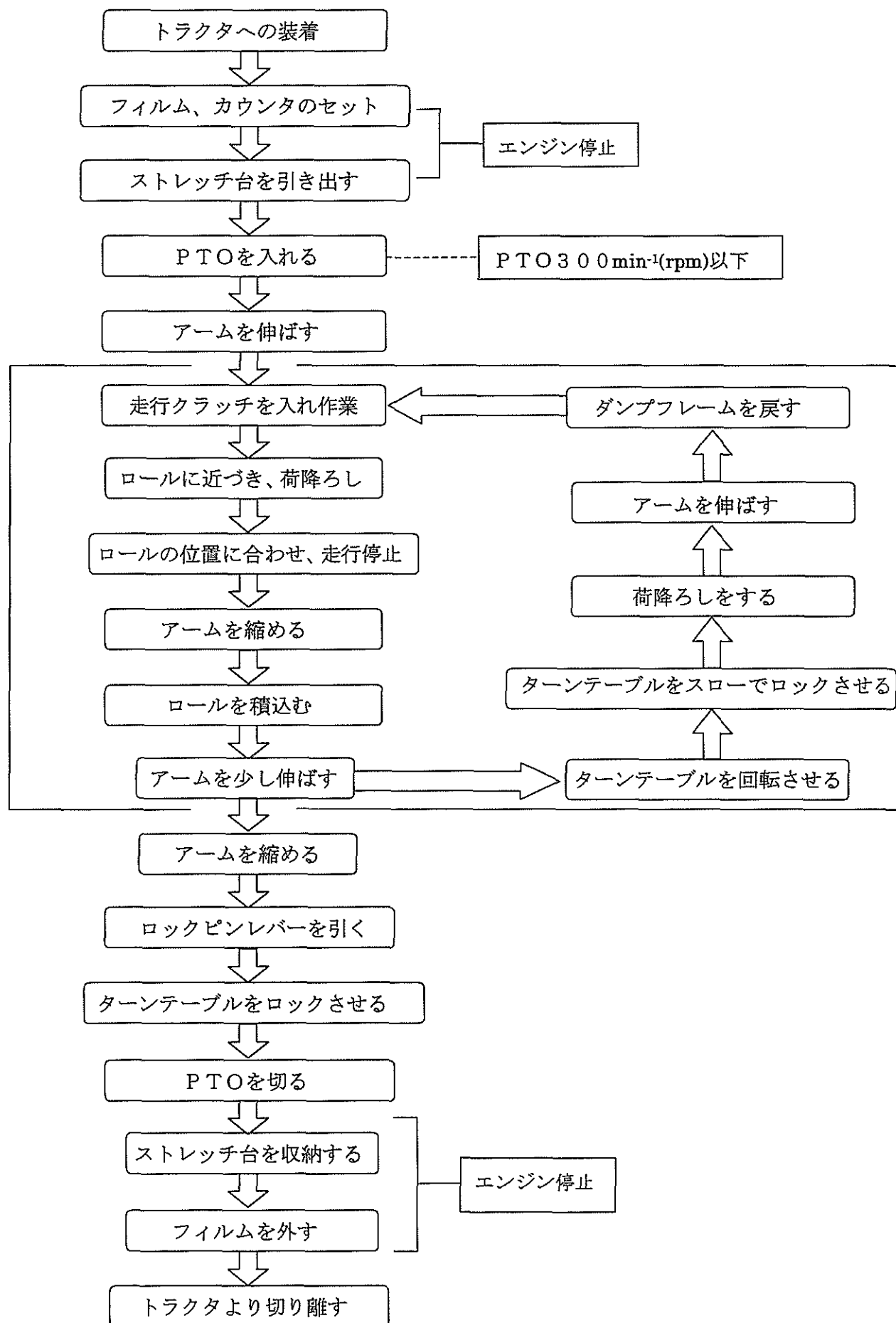
警告

この作業を行うときは水平なところでトラクタのエンジンを停止させて行ってください。

これを怠ると重大な傷害事故につながる恐れがあります。

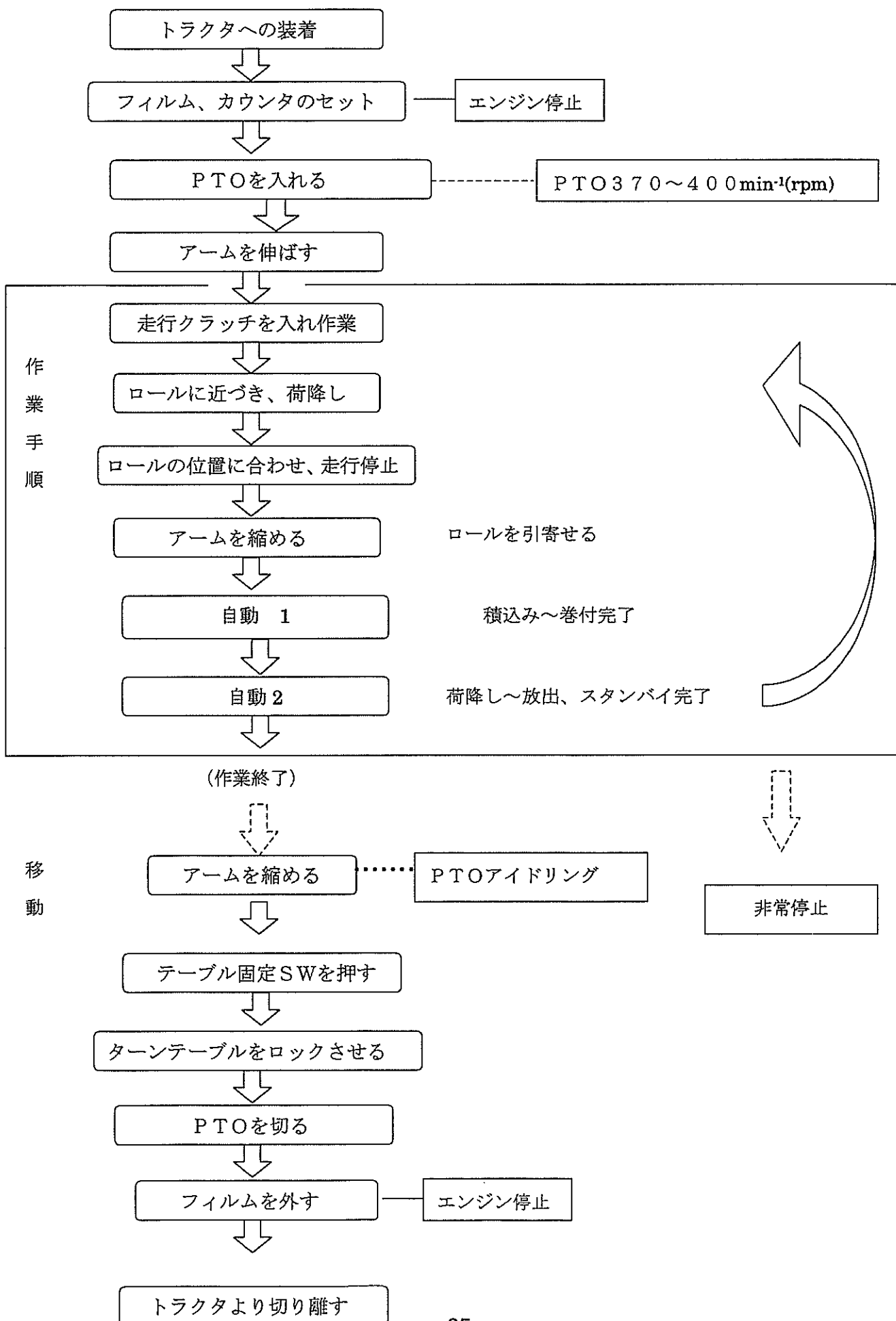
作業方法

1-1. 作業手順と要点 (WM1061、WM1071)



作業方法

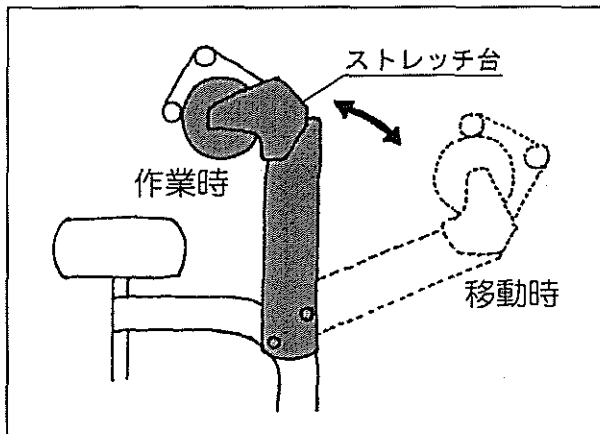
1-2. 作業手順と要点 (WM1061A、WM1071A)



作業方法

2. ストレッチ台を引き出す (全仕様)

積み込み時のバランスをとり、タイヤアンドカットを働かせるため、作業時には必ずストレッチ台を引き出します。



⚠ 注意

この作業は、必ず平坦地で行ってください。

これをおこたると傷害事故につながる恐れがあります。

(標準仕様の作業方法)

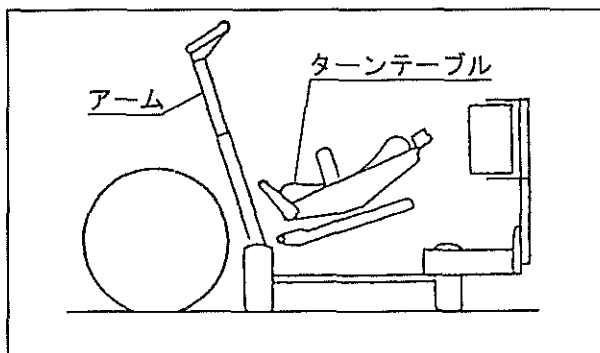
3. 積み込み作業

積み込み作業はターンテーブルをロックさせてから行います。

① PTOを回します。(アイドリング)

② アームを伸ばします。

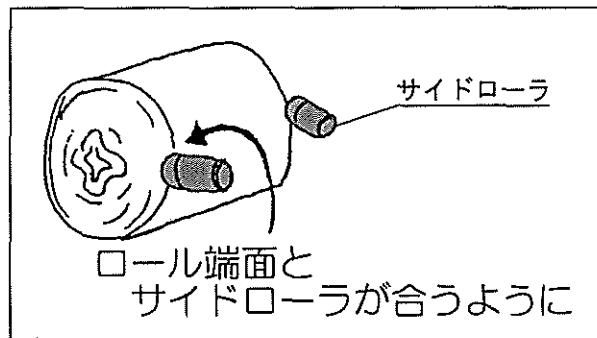
③ 少しダンプします。



④ ロールの端面が前方へサイドローラの位置と大体合うよう、進入します。

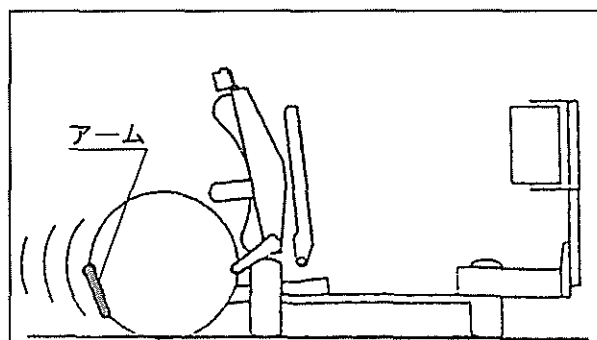
⑤ 最後までダンプします。

この時、ロールの端面とサイドローラの位置が合うよう、トラクタを前後させてください。



⑥ アームを縮めます。

(ロールが寄ってきます)



⑦ リリーフバルブの効く音がしたら、ダンプフレームを持ち上げます。

アームを縮め過ぎるとロールが変形してしまうため、作業に慣れてきたらリリーフバルブが効く前にアームを止めてください。

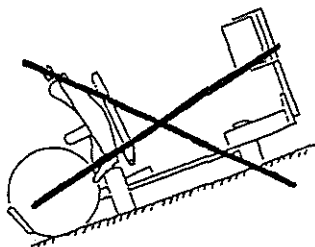
⚠ 警告

本機のロール積み込み能力は最大350kgです。それ以上重いロールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にやめてください。

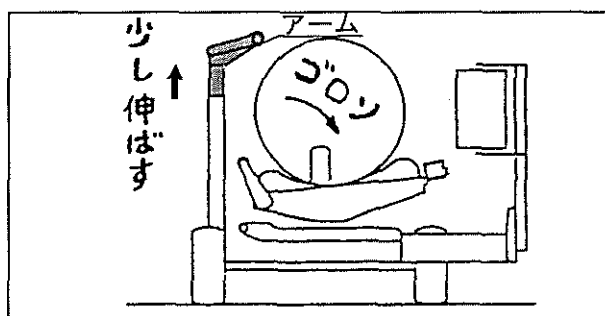
作業方法

警告

谷側からの積込みは転倒の危険がありますので絶対にしないでください。



⑧アームを少し伸ばすと、ロールがターンテーブルに載ります。



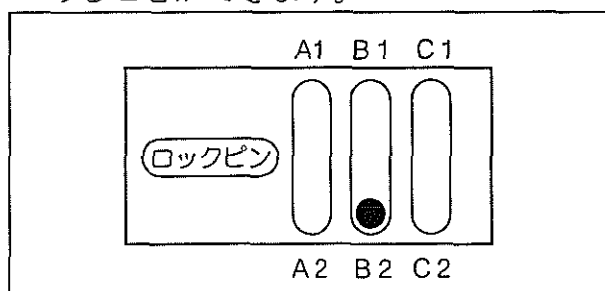
4. フィルムを巻付ける

①ターンテーブルをゆっくり正転させます。レバーがロックされ、フィルムが巻かれ始めます。PTOが 300 min^{-1} (rpm)以下で作業し、変形ロールの場合は更に低速でラップしてください。

危険

運転中は絶対に近寄らないでください。これを怠ると、重大な傷害事故につながる恐れがあります。

回転中にフィルムが切れたり、無くなった場合、レバーをB2に引けば回転を止めることができます。



移動しながらラップするときは、ローリングの上下で機体を水平に保ってください。

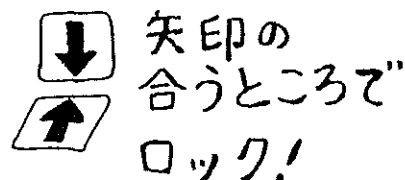
②回転が停止する。

回転が停止したらロックピンが自動的に飛び出します。

巻き数が足りない場合はロックレバーを引きながら、必要なだけ追い巻きをしてください。

③ターンテーブルをロックさせる。

ターンテーブルを小刻みに回転させ、矢印の合うところまでゆっくり回転させてロックします。



注意

ターンテーブルを高速で回転させると、ロックピンが作動せず、故障の原因となりますのでやめてください。

ターンテーブルの連続逆転（左回り）は故障の原因となりますのでしないでください。

5. ロールを降ろす

警告

谷側への積降ろしは転倒の危険がありますので絶対にしないでください。

①アームを縮めます。

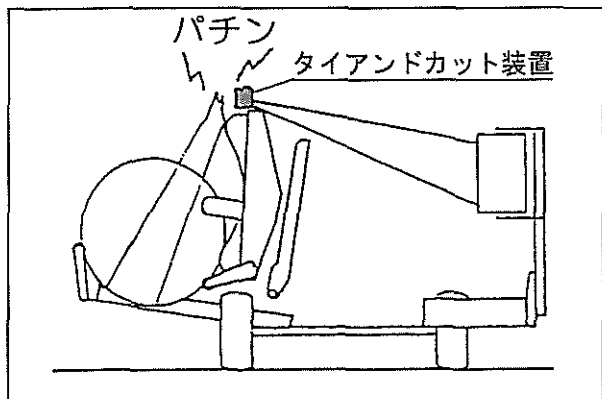
②荷降ろしをします。

ゆっくりと一定の速さで最後まで降ろしてください。

途中でタイアンドカット装置が働き、フ

作業方法

フィルムが切断、保持されます。

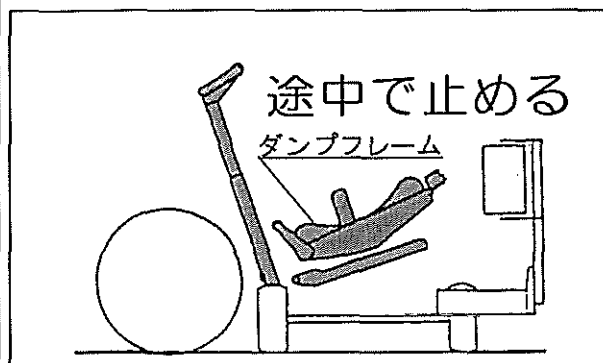


③アームを伸ばします。

④ダンプフレームをダンプさせます。

ダンプフレームを元に戻すとターンテーブルのロックが解除されます。

連続作業の場合は、ダンプフレームを途中で止めることでターンテーブルのロックは保持され、次の作業が楽になります。



ダンプフレームを元に戻した場合はロックピンレバーを引いて、ターンテーブルを必ずロックさせてください。

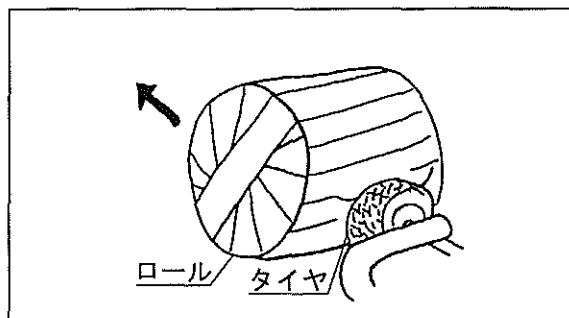
ロールはなるべく水平なところで降ろしてください。

やむを得ず、傾斜地で降ろす場合は等高線に対して直角に降ろしてください。

⑤トラクタを前進させて次のロールをラップします。

荷降ろしたロールがタイヤと接触した場合、無理に前進させるとフィルムが破れることがありますので、必ずタイヤか

ら離してから前進させてください。



(A仕様の作業方法)

7. 自動運転を行う

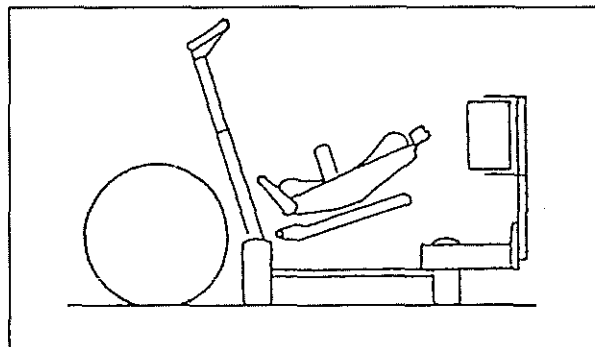
積み込み作業はターンテーブルをロックさせてから行います。

① PTOを回します。(アイドリング)

② コントローラのテーブル固定スイッチを押してテーブルをロックさせてください。

③アームを伸ばします。

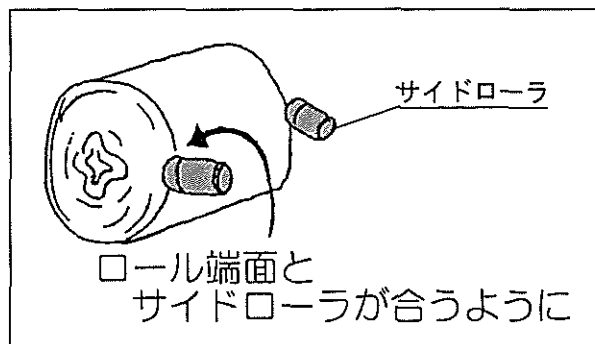
④少しダンプします。



⑤ロールの端面が前方へサイドローラの位置と大体合うよう、進入します。

⑥最後までダンプします。

この時、ロールの端面とサイドローラ的位置が合うよう、トラクタを前後させてください。



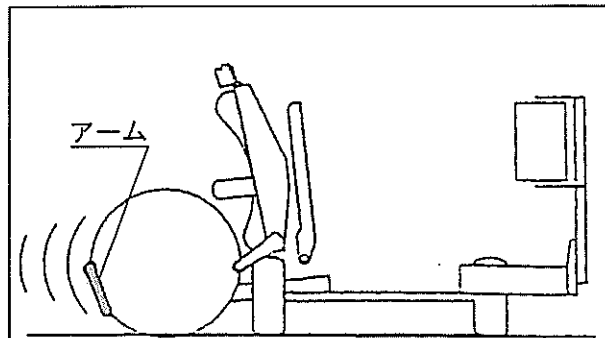
作業方法

⑦PTO回転を $370 \sim 400 \text{ min}^{-1}(\text{rpm})$ にセットしてください。

⑧アームを縮めます。

(リリースバルブの音がするまで)

(ロールが寄ってきます)



⑨ロールとテーブルの位置関係を確認

⑩自動1スイッチを押す(長押し)

積込みを開始し巻付完了まで自動で行います。

警告

本機のロール積込み能力は最大350kgです。それ以上重いロールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にやめてください。

⑪ロールを降ろす場所まで移動する

⑫自動2スイッチを押す(長押し)

ロールを放出後、テーブルが戻り、次の作業のスタンバイ状態まで自動で行います。

注意

自動運転を行う前に、周囲に人、物がないか安全を確認してください。これを怠ると、重大な傷害事故につながる恐れがあります。

自動運転中に動作を停止する場合、非常停止ボタンを押すと(LED点灯)止めることができます。電源を切らなければ、

停止した状態がメモリーされているため、再度、非常停止ボタンを押すと(LED消灯)次から作業が再開されます。また、その他のスイッチを押すことで、リセットされ、メモリーが消去されます。

8. 手動運転を行う

手動でも作業ができます。

1. ロールをテーブルに載せる
2. アームを少し伸ばす
3. 手動巻付スタートスイッチを押す
(巻付開始後、自動停止)
4. アームを縮める
5. 荷降し
6. テーブルを戻す(途中まで)

回転中にフィルムが切れたり、無くなった場合、非常停止ボタンを押すと(LED点灯)止めることができます。電源を切らなければ、停止した状態がメモリーされているため、再度、非常停止ボタンを押すと(LED消灯)続きから作業が再開されます。

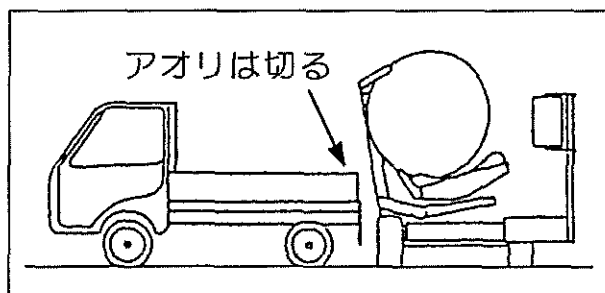
また、その他のスイッチを押すことで、リセットされ、メモリーが消去されます

作業方法

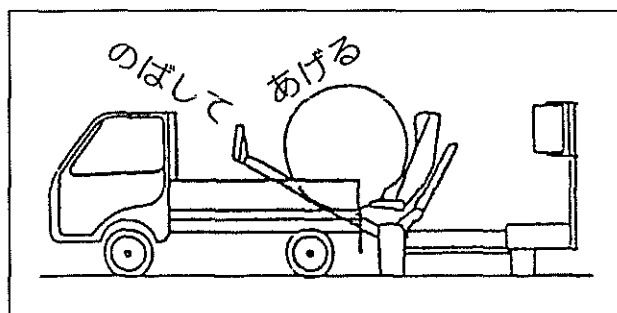
9. ロールを軽トラックに積込む場合

荷台高さが70cmくらいであればロールを積込むことができます。

- ①ラップしている時は、いったんアームが水平になる位まで降ろし、タイアンドカット装置を働かせてフィルムを切断し、ロール下端の高さが80cm位になるまで持ち上げます。



- ②軽トラックを車輪ぎりぎりまで近づけます。あおりは切っておきます。
- ③ロールが荷台に着くまでダンプします。
- ④アームを伸ばします。
- ⑤ダンプフレームをリフトします。
- ⑥ロールが転げ落ちないように、あおりを閉めます。



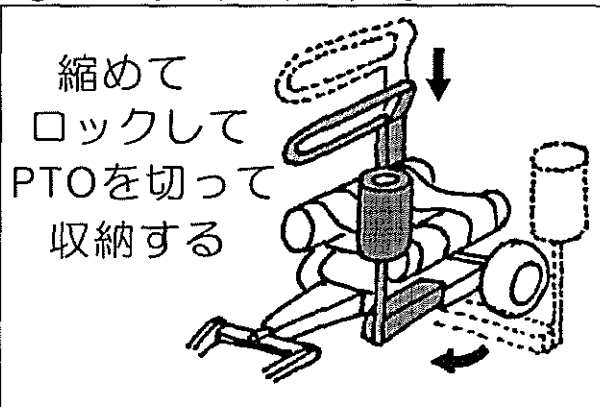
⚠ 注意

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして安全を確かめ合いながら作業してください。
これを怠ると、傷害事故につながる恐れがあります。

10. 移動時の注意

移動する時は、以下のことを守ってください。

- ①アームを縮める。
- ②ターンテーブルをロックさせる。
- ③PTO切る。
- ④ストレッチ台を収納する。



⚠ 注意

ストレッチ台の収納は、必ず平坦地で行ってください。
これを怠ると傷害事故につながる恐れがあります。

11. 収納時の注意

各部に巻き付いた草などを取り除いて、車輪止めをしてください。
屋外に放置する場合はフィルムを外して雨などに濡らさないようにしてください。

⚠ 注意

作業機に近づく場合は、必ずトラクタのエンジンを停止させてください。
これを怠ると、重大な傷害事故につながる恐れがあります。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

点検整備基準

○点 検 ●交 換 △補 給 □清 掃

作 業 内 容		時 間						備 考
		作業前毎	作業後毎	20時間毎	50時間毎	100時間毎	200時間毎	
機 体 部	ボルト、ナットのゆるみ						○	作業前毎
	チェーンのたるみ				○			初期2時間
	タイヤ空気圧			○				
	カウンタ回り		□					
	ターンテーブルまわり		□					
	機体の洗浄		□					
	ストレットロールの掃除		□					
給 油 部	各チェーン			△				注油
	ユニバーサルジョイント					△		
	伸縮アーム部	△						グリス塗布
	カウンタ周辺リンク部			△				注油
	油圧シリンダ支点					△		
	ロックピン					△		
	油圧オイル						●	不足の場合適宜補給
	サイドローラ			△				

注 意

特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼働率が高いときは適宜規定の時間より早めに点検整備してください。

簡単な手入れと処置

⚠ 警告

点検・調整をするときは必ずP T Oを切り、エンジンを停止させてください。
これを怠ると重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。

1. 油圧作動油について

点検、補給はエンジン始動前に行ってください。

不足している場合は、適時補給してください。

油はJ I S K 2 2 1 3 添加タービン1号または2号相当品をご使用ください。

ISO VG	J O M O	出光興産	日本石油	コスモ石油	昭和シェル石油
6 8	ハイドラックス 68	ダブリュウハイドロ ウリックフルイド 68	スーパー ハイランド 68	コスモオルパス 68	シェルテラス オイル 68

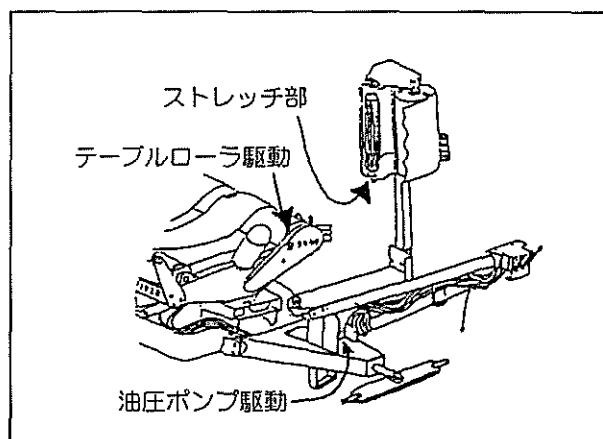
注 意

- 不燃性作動油は使用できません。
- 寒冷地では耐寒性作動油をご使用ください。
- 工場出荷時はシェルテラスオイル68を使用しています。
- 長時間、連続作業を行った場合、油温上昇のため油圧効率が悪くなり、動作が遅くなる
ことがあります。その場合、作業をとめて、油温を下げると元に復帰します。

2. チェーンの調整

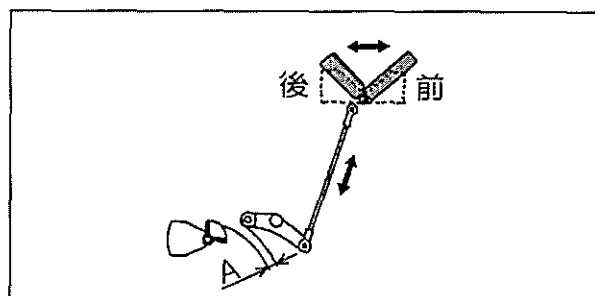
ストレッチ部、テーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の3ヶ所にチェーンが使用されています。

チェーンは特に初期に伸びますのでテーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の2ヶ所は最初の2時間使用後に張り調整を行ってください。



3. タイアンドカットの調整

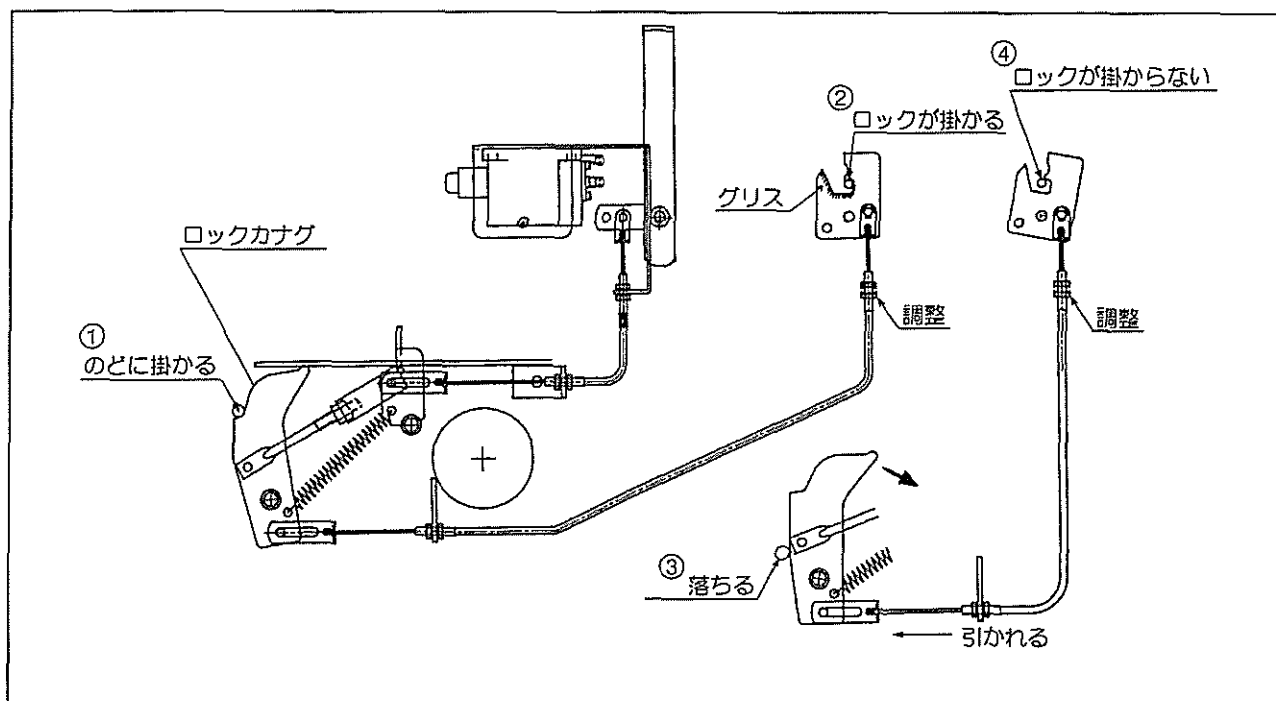
- ロールの荷降ろし時、同装置が働いて、フィルムを切断・保持しますが、位置が合っていないとうまく機能しません。
- ロールの寸法によっては移動する必要があります。
- ①フィルムが前方にずれる場合、装置を前に移動させます。
- ②フィルムが後方にずれる場合、装置を後ろに移動させます。
- ③装置を移動した後、A寸法が1～2mmになるよう、ネジを調整します。



簡単な手入れと処置

4. チェーンの調整

オートストップ装置が作動不良を起こした場合、以下の要領でワイヤ調整を行ってください。

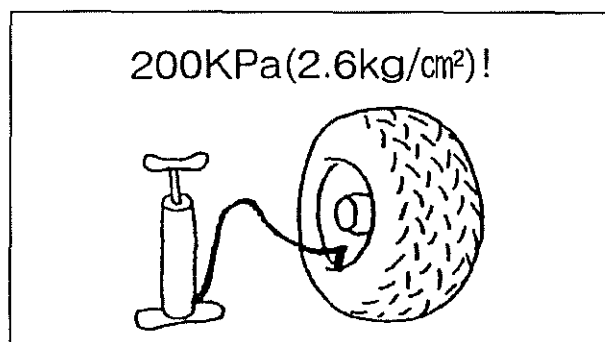


- ① ロックカナグの上にオシアゲカナグの丸棒を載せる。
- ② 操作板のターンテーブルレバーを引く。ロックが掛かるよう、ワイヤを調整する。
- ③ ロックカナグからの下の段にオシアゲカナグの丸棒を落とす。
- ④ 操作板のターンテーブルレバーが解除され、再びロックが掛からないようにワイヤ調整をする。
- ⑤ ①～④の動作を繰り返して調整確認する。

5. タイヤの空気圧

タイヤサイズは、20×8.00-10
6プライです。

シーズン始めにタイヤ空気圧を測り、足りない場合は空気を入れてください。
空気圧は200kPa(2.6 kg/cm²)です。



6. ゴムロール

作業後、ゴムロールに付着した糊を軽油等で拭き取ってください。

糊が付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が一定せず、巻むらが起ることがあります。



簡単な手入れと処置

7. スイッチ類の調整 (A タイプ)

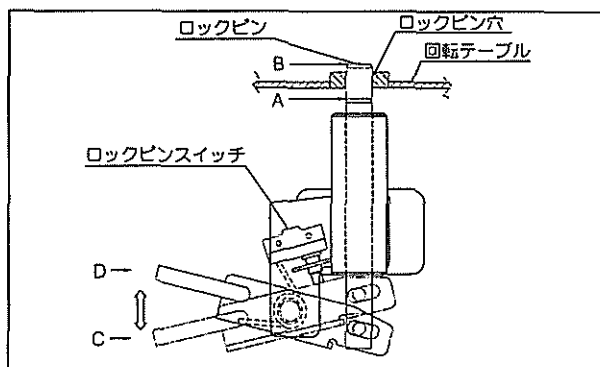
◆ロックピンスイッチの調整

ロックピンスイッチ調整不良時、次の誤動作がおこる可能性がありますので、調整を行う必要があります。

- ・ターンテーブルがロックされている時に、ダンプできない。
- ・ターンテーブルがロックされても、油圧ポンプのリリーフが効き続ける。
- ・ターンテーブルの回転が保持されない。

(調整方法)

- ①図に示すように、ターンテーブルがロック状態 (B の位置) にあるとき、ロックピンスイッチが押し上げ金具 (C の状態) により、押されるよう (スイッチ ON) に仮止めしてください。
- ②次に、ターンテーブルのロックピンスイッチが押し上げ金具 (D の状態) より離れた状態 (スイッチ OFF) にセットしてください。



不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ペ ー ジ
● ロールが持ち上がらない	● オイルが減っている ● ロールの引き寄せ量不足	● オイルを補給する ● 再度アームを伸縮する	29 —
● ロールを引き寄せられない	● オイルが減っている ● グリス切れ	● オイルを補給する ● アームを伸ばし、グリスを塗布	29 —
● 動作速度が遅い	● オイルが減っている	● オイルを補給する ● フットアクセルでエンジン回転速度を上げる	29 —
● フィルムがよく切れる	● ゴムロールが汚れている ● チェーンの油切れ ● フィルムの性質 ● テーブル回転が速い	● ゴムロールをきれいにする ● チェーンに注油する ● ストレッチプリーを交換する ● 回転を遅くする	30 29 16 25
● いつまでたってもターンテーブルが停止しない	● ワイヤが伸びている ● ロックピンスイッチの調整不良 (A仕様)	● ワイヤ調整 ● スイッチ調整	30 31
● ターンテーブルがロックしない	● ロックピンが出てこない ● 回転が速すぎる	● ロックピンレバーを引き直す ● バッテリーの電圧チェック (A仕様) ● レバーを小刻みに動かす	17
● タイアンドカット装置がうまく動作しない	● ターンテーブルがロックされていない ● 装置の位置不良	● テーブルをロックする ● 前後に移動する	— 29
● ターンテーブルからロールが落ちる	● ターンテーブル回転が速い	● エンジン回転を遅くする	25
● ダンプしない (A仕様)	● ターンテーブルがロックされていない ● ロックピンスイッチ調整不良	● アイドリングでPTOを回し、テーブル固定ボタンを押す ● ロックピンスイッチ調整	— 31
● リリーフが効きっぱなし (A仕様)	● ロックピンスイッチ調整不良	● ロックピンスイッチ調整	31
● ターンテーブルの回転の保持が効かない (A仕様)	● ロックピンスイッチ調整不良	● ロックピンスイッチ調整	31

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

品 名		オートラップマシン			
型 式		WM1061	WM1071	WM1061A	WM1071A
機 体 寸 法	全 長 (mm)	3250		2900	
	全 幅 (mm)	2300 (作業時) ~ 1800 (移動時)			
	全 高 (mm)	1800			
質 量 (kg)		650	690	670	720
装 着 方 法		ローリンクけん引 カテゴリー○：I			
PTO 回転速度 min ⁻¹ (rpm)		300		370~400	
適 応 ト ラ ク タ (kW {PS})		14.7~33.1 (20~45)			
リフトアーム揚力 (kgf)		350			
許容バールサイズ		直径 90~100cm×幅85~100cm			
タ イ ヤ サ イ ズ		20×8.00-10 6PR			

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。